

建設部

建設総務課

課長 前澤 弘一

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	0810000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	県有料道路通行料金負担軽減事業
-------	-----------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	県有料道路通行料金負担軽減事業

< 事業の狙い > 事業計画年度 H28～R2

三才山トンネルの通行料時間帯割引制度により、トンネルを利用する市民の経済的負担軽減を図るもの
(R2年9月1日から三才山トンネルの通行料が無料化されることに伴い事業終了)

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

(概要)
県が制定した「長野県有料道路利用者負担軽減事業実施要綱」に基づき、「時間帯割引回数通行券」を市が購入し、市民に販売するもの
(事業内容)
県道路公社から市が通行券を購入 (6割)
市の購入実績に応じて県が県道路公社へ負担額を支払う (2割)
市が利用者に割り引いて販売 (5割)

三才山トンネル有料道路時間帯割引回数通行券販売枚数実績(令和2年3月末現在)

	H28	H29	H30	R1
普通車	103,180	100,970	97,230	92,730
軽自動車	29,390	31,560	27,930	30,630

< 現状に対する認識 >

当初、三才山トンネル無料化は、令和3年6月の予定でありましたが、長野県議会平成30年2月定例会において阿部知事が、「令和2年夏頃までに一般道路化することが可能」と発言しました。そのことから、松本市としましては、県議懇、市長会等、機会を捉えて県知事発言の「令和2年夏頃までの無料化」の実施を要望してきましたが、令和2年1月23日に正式に令和2年9月1日からの無料化が決定しました。

区分	総合評価				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	県が実施する事業に対して、市が一部を負担し実施しているため、目標値の設定はできない。				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	44,061		42,400		38,720		41,480		14,600	
国・県										
利用者負担金	34,830		34,180		30,862		34,560		12,130	
その他										
一般財源	9,231		8,220		7,858		6,920		2,470	
人件費(千円)	3,845	人工	3,795	人工	3,775	人工	3,800	人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,775	0.5	3,800	0.5		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	47,906		46,195		42,495		45,280		16,523	
前年度比	-		96.4%		92.0%		106.6%		-	

事務事業評価票

事務事業名	中部縦貫自動車道推進事業 R2から松本波田道路推進事業から事業名変更
-------	---------------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	松本波田道路推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28 ~ R8

追加インターチェンジを整備することにより、松本波田道路の利便性向上及び地域活性化(企業立地、雇用の創出、周辺道路の渋滞緩和、緊急ネットワークの強化)を図るもの。また、先線(波田~中ノ湯間)について、国、県、市が先線整備の検討会を実施し、計画段階評価まで進めることで、国から具体的なルート計画の提示を地元住民に行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 概要	中部縦貫自動車道(長野県側) ・計画区間 島立~中ノ湯 L=約3.6km ・計画幅員 4車線(暫定2車線) 追加インターチェンジ ・整備工事 2カ所(仮称)和田IC、(仮称)新村IC 先線(波田~中ノ湯間)の整備検討 ・計画区間 波田~中ノ湯 L=約2.7km
2 実施内容及今後の予定	追加インターチェンジの設置 ア 実施内容 4地区(島立、和田、新村、波田)及び松本臨空工業団地、大久保工場公園団地の各管理組合から2カ所のIC設置に関する要望を受け、国が整備する松本波田道路の事業進捗に合わせ、地域活性化を目的に、市が事業主体となり、追加インターチェンジ(2カ所)を整備する。 令和元年度は、本体事業の進捗に合わせ詳細設計を1年延伸している。 活動指標は、事業費ベースとする。令和元年度は事業の見直しを実施したため、進捗率は下がっている。
イ 今後の予定	R2 詳細設計、土質調査 2カ所 R3 詳細設計、地質調査、用地測量・補償算定 2カ所 R4 用地買収、補償料((仮)新村IC) R5 用地買収、整備工事((仮)新村IC) 先線(波田~中ノ湯間) ア 実施内容 R1 国、県、市による先線整備勉強会の実施(R1.11) イ 今後の予定 R2 国、県、市による先線整備検討会(予定) R3.4 計画段階評価(先線の概略ルート構造の検討)

< 現状に対する認識 >

1 追加インターチェンジ	・本線の進捗に合わせた整備が必要 ・追加インターチェンジの設置に関する、松本波田道路への連結許可申請に向けた、国・県との協議を進める。
2 先線(波田~中ノ湯間)	・早期に国、県、市で先線整備検討会を実施し、検討状況等を地元に対し、分かりやすく情報発信する必要がある。

部局名	建設部	課名	建設総務課・建設課	課CD	0810000
-----	-----	----	-----------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	追加インターチェンジ設置事業進捗率(活動指標)				
指標の設定理由	成果は、供用後に発生するため、活動指標を目標値とする。				
目標値	2%	2%	3%	3%	5%
実績値	2%	2%	4%	2%	5%
達成度	100%	100%	136%	51%	-
成果指標(指標名)	先線(波田~中ノ湯間)事業については、国、県と一緒に検討し、事業推進を図るが、事業主体である国から目標値が示されないため指標の設定が困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	7,992	0	7,020	0	35,210					
国・県					17,600					
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,992	-	7,020	-	17,610					
人件費(千円)	6152	人工	6,072	人工	6,040	人工	5,320	人工		人工
正規	6152	0.8	6,072	0.8	6,040	0.8	5,320	0.7		
嘱託	0	0	0	0	0					
合計コスト +	14,144	6,072	13,060	5,320	43,669					
前年度比	-	42.9%	215.1%	40.7%	-					

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	0810000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	負担金 (道路整備・都市計画)
-------	--------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取組み	中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
				松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

~

国・県事業の促進を目的とする各種同盟会等が行う要望活動等に対する支援により、事業の進捗を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 国・県が行う道路整備促進のため、関係団体の要望活動を支援
本市が事務を担当する同盟会等 ()内は、松本市負担金額
ア 地域高規格道路松本系魚川連絡道路建設促進期成同盟会(44,600円)
イ 中部縦貫自動車道(松本~中ノ湯間道路)建設・国道158号整備促進期成同盟会(236,000円)
ウ 中部縦貫自動車道建設促進長野・岐阜連絡協議会(負担金無)
エ 松本・佐久地域高規格道路建設促進期成同盟会(負担金無)
オ 国道143号整備促進期成同盟会(66,000円)
カ 主要地方道奈川木祖線整備促進期成同盟会(負担金無)
キ 長野県道路整備期成同盟会松塩筑地区会(439,663円)
その他の同盟会等
ア 国道254号(佐久~松本間)道路整備期成同盟会(8,880円)
イ 県道新田松本・土合松本・松本空港線整備促進期成同盟会(7,000円)
ウ 関東国道協会(36,000千円)
エ 地域高規格道路松本系魚川連絡道路長野県側ルート建設促進協議会(20,000円)
オ 日本道路協会(60,000円)
- 都市計画・街路事業等の推進のため、関係団体へ負担金を支払うもの
コンパクトなまちづくり推進協議会(30,000円)
長野県都市施設協会(583,800円)

<現状に対する認識>

各道路整備促進については、関係市村や国・県と調整を行い、効果的な要望活動が実施できるよう、引き続きの支援が必要

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	国・県事業の促進を図ることを目的とした活動へ負担しているものであるが、事業主体である国・県から目標値が示されないため指標の設定は困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	1,476		1,390		1,408		1,532		1,580	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,476		1,390		1,408		1,532		1,580	
人件費(千円)	26,915	人工	26,565	人工	26,425	人工	26,600	人工		人工
正規	26,915	3.5	26,565	3.5	26,425	3.5	26,600	3.5		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	28,391		27,955		27,833		28,132		28,495	
前年度比	-		98.5%		99.6%		101.1%		-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	0810000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	補助金 (国道19号、国道158号)
-------	-----------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進		5つの重点目標	5 将来世代のためのハード整備
				松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

< 事業の狙い > 事業計画年度 ~

国が行う国道19号松本拡幅事業に対して、市の関連事業及び地元調整を行い事業の推進を図ります。
 国及び県が実施する松本波田道路及び国道158号改良事業に対して、市の関連事業及び地元調整を行い事業の進捗を図ります。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

○国が実施する国道19号松本拡幅事業の促進を図るため、「国道19号松本拡幅建設促進連絡協議会」が行う研究、調査、地元調整、要望事業等の活動に補助金を交付し、支援する。
 ○国及び県が実施する松本波田道路及び国道158号改良事業の促進を図るため、「国道158号改良を促進する沿線住民の会」が行う調査及び計画立案、住民へのPR、要望事業等の活動に補助金を交付し、支援する。

< 現状に対する認識 >

・国道19号は、松本市の幹線道路の骨格を担っている、また、複雑な権利関係が多い路線でもあるため、地元協議会と引き続き連携しながら事業促進を図る。
 ・国道158号は、事業が急速に進捗しており、事務量が増大している。現道の奈川渡改良、狸平バイパス、松本波田道路など、関連事業は多岐にわたっている。

< 指標の達成状況 >	総合評価				
	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
成果指標(指標名)	事業進捗を図るための活動への補助金であるが、事業主体から目標値が示されないため、指標の設定が困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	450	450	450	410	450
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	450	450	450	410	450
人件費(千円)	10766	10,626	10,570	7,600	
正規	10766	1.4	10,626	1.4	10,570
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	11,216	11,076	11,020	8,010	8,140
前年度比	-	98.8%	99.5%	72.7%	-

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	0810000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	交付金 (中部縦貫自動車道建設事業)
-------	-----------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
					松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	交付金

<事業の狙い>	事業計画年度	~
中部縦貫自動車道建設事業の関係4地区(鳥立、新村、和田、波田)が設置する各地区対策委員会が行う調査研究、地元調整等の活動を援助することにより、事業の推進を図ります。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

地元4地区(鳥立、新村、和田、波田)が設置する対策委員会で行う調査研究、地元調整等の活動を支援することにより、中部縦貫自動車道建設事業の円滑な促進を図るため、必要に応じ、交付要綱に基づき交付金を交付する。
対象 鳥立地区中部縦貫自動車道対策委員会 和田地区中部縦貫自動車道対策委員会 新村地区中部縦貫自動車道対策委員会 波田地区中部縦貫自動車道対策委員会
交付金の額 1委員会当たり10万円
ただし、対象から要望がないため、令和元年度交付実績はない。 全地区の設計協議が完了し、R1年度から国による個別用地交渉が地元(波田、新村地区)で本格化したことで、地権者(個人)ごとの対応となったことにより調査研究等の活動が減少したことや、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、予定していた対策地区連絡協議会の活動が中止になり各地区の負担金徴収が見送られたこと等により、各地区対策委員会の支出が減少し繰越額が例年より増加したため。

<現状に対する認識>

・国が進める本線の各地区での設計協議完了し、昨年度から、個別用地交渉が始まったため対策委員会の活動が一時的に減少している。しかし、今後は用地買収が進むことで多くの不整形な残地が発生し地区の環境等が変化することから、調査研究が必要となる。 ・地区ごと、に事業進捗やが異なるため、交付要綱の見直しなど実情に合わせたきめ細かな対応が必要。

<指標の達成状況>	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事業の円滑な促進を図るため、地元で交付しているものであるが、事業主体の国から目標値が示されないため、指標の設定が困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	200	100	100	0	400					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	200	100	100	0	400					
人件費(千円)	9,228	人工	9,108	人工	9,060	人工	7,600	人工		人工
正規	9,228	1.2	9,108	1.2	9,060	1.2	7,600	1.0		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	9,428		9,208		9,160		7,600		8,090	
前年度比	-		97.7%		99.5%		83.0%		-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	0810000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	負担金 (県の道路事業県管理道路)
-------	----------------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み	生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	5 将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

県管理道路(国、県道)について、主要都市間道路ネットワークの整備により、渋滞対策、快適性、安全性の確保及び歩行者、自転車の安全対策等を図り、将来世代につなぐ総合的な道路整備を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

県が行う道路改良事業について、円滑な事業推進が図られるよう、関係者等との調整を行う。

道路法第52条により、県が行う街路の新設または改良する費用の一部を市町村で負担するもの。

対象路線

(都)内環状南線

ア 工事概要:道路築造工事等の施工

イ 負担金:82,151千円

(都)出川双葉線

ア 工事概要:用地補償、用地測量の実施

イ 負担金:9,615千円

(都)松本駅北小松線

ア 工事概要:物件調査、用地補償の実施

イ 負担金:30,835千円

(都)宮渕新橋上金井線

ア 工事概要:用地補償、物件調査の実施

イ 負担金:36,308千円

< 現状に対する認識 >

円滑な事業進捗のため、引き続き関係者との調整が必要

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	県が行う事業費用の一部を負担するものだが、県から目標値が示されないため、指標の設定が困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	83,588		139,203		65,364		158,909		160,580	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	83,588		139,203		65,364		158,909		160,580	
人件費(千円)	10,766	人工	10,626	人工	10,570	人工	10,640	人工		人工
正規	10,766	1.4	10,626	1.4	10,570	1.4	10,640	1.4		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	94,354		149,829		75,934		169,549		171,346	
前年度比	-		158.8%		50.7%		223.3%		-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	0810000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	負担金 (国、県の河川、砂防事業)
-------	----------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

河川の増水や土石流などの災害の発生を未然に防ぎ、住民を洪水災害から守るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

国・県の砂防・河川事業の円滑な事業推進が図られるよう関係者等の調整を図ります。また、河川・砂防の建設及び整備を促進するため同盟会を窓口とし、国・県等への要望活動を実施しています。()内は、松本市負担金額

- 1 犀川・梓川流域の砂防事業
- 2 奈良井川流域の河川整備事業
- 3 同盟会等への負担金
 奈良井川水系河川改良促進期成同盟会(25,000円)
 長野県治水砂防協会松塩筑支部(1,153,727円)
 信濃川・姫川水系砂防工事促進同盟会(289,000円)
 犀川直轄改修期成同盟会(156,000円)
 長野県河川協会(477,000円)

< 現状に対する認識 >

砂防、河川事業は、河川環境の改善、防災・減災の観点から重要な事業であるため、今後も、国・県に対して積極的な要望を継続する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	河川・砂防事業を促進するための事業であるが、事業主体の国・県から				
指標の設定理由	目標値が示されないため、指標の設定が困難				
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	970		1,486		964		2,101		1,880	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	970		1,486		964		2,101		1,880	
人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工	3,020	人工	3,040	人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4	3,040	0.4		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	4,046		4,522		3,984		5,141		4,956	
前年度比	-		111.8%		88.1%		129.0%		-	

事務事業評価票

事務事業名	官学連携事業 R2～「技術職人材確保事業」に変更
-------	-----------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	一般事務費

< 事業の狙い >

事業計画年度 2015 ~

近年、技術系職員の採用試験受験者が減少傾向にあるなど、人材確保が課題となっていることから、大学や高校などと連携し、学生に対して松本市の建設行政の魅力をPRするとともに、技術職の業務内容や採用に係る情報提供を行うことで受験者数の増加を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 技術系の学生を対象とした有給実践型インターンシップの受け入れ
 - ・受入れ人数 5名
 - ・受入れ日数 合計49日
 - ・受入れ課 都市政策課(2名)、建設課、公園緑地課、住宅課
- チラシ・ポスター及びパンフレットの作成
 - 作成部数
 - リーフレット 1,000部
 - ポスター 50部
- 大学・高校等への訪問PR
 - ・訪問先 県内技術系学校4校(信大工学部・農学部、長野高専、南農高)
 - ・内容 就職担当に対して採用試験・有給実践型インターンシップのPRを行うとともに、学生の就職志望状況の情報交換を行った。
- 座談会の開催
 - ・3月12日に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
 - ・代わりとして、学生からの質問への回答をまとめた「紙上座談会」を作成し、令和2年5月までに希望者15名に郵送した。

< 現状に対する認識 >

近年は技術職の採用試験受験者が少数であり、受験倍率が低い状態が続いている。今後発生する退職への対応として、技術継承を適切に行うためにも、優秀な人材を確保していく必要がある。
生活基盤の整備や災害対応に欠かすことのできない技能者・技術者の確保は地域全体の課題と捉え、民間事業者と課題を共有し、官民が連携した人材確保・担い手育成の取組みを検討する。

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	0810000
-----	-----	----	-------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって
基本施策(個別目標)	904	松本の魅力発信力の強化

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	有給インターンシップ受入者の採用試験受験状況(受入者の次年度以降の受験状況)				
指標の設定理由	長期のインターン受入により採用試験受験に繋げる狙いであるため。				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	2	1	0	R2以降受験	R3以降受験
達成度	200.0%	100.0%	0.0%	-	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	390		533		420		493		450	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	390		533		420		493		450	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	1,159		1,292		1,175		1,253		1,988	
前年度比	-		111.5%		90.9%		106.6%		-	

事務事業評価票

事務事業名	美しいまち松本づくり事業 (基金積立)
-------	------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	美しいまち松本づくり事業費

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

H22 ~

「美しいまちづくり」に寄与する目的で寄附された寄附金等を積み立て、美しいまちづくりのための事業に充当する財源とするもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1	令和元年度積立額	16,042,927円
	【内訳】	
	ふるさとまつもと寄附金	14,633,005円
	イオンリテール株式会社からの寄附金 (WAONカード利用額の0.1%)	1,409,922円
2	令和元年度取崩額	198,258,500円 (全国都市緑化フェア負担金等に充当)
3	令和元年度末基金残高	901,739,421円
4	その他	
	基金に係る利子収入については、当該年度実施事業に全額充当 (美しいまち松本づくり基金条例の規定による運用ルール) 令和元年度は生垣設置事業補助金(公園緑地課)に充当	

< 現状に対する認識 >

美しいまちづくりのための事業への財源として本基金の有効的な活用が必要

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	条例の規定に基づいて寄附金等を積み立てるものであり、指標の設定は				
指標の設定理由	不可				
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	21,937		26,533		19,745		16,043		19,400	
国・県										
利用者負担金										
その他	21,937		26,533		19,745		16,043		19,400	
一般財源										
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	22,706		27,292		20,500		16,803		20,169	
前年度比	-		120.2%		75.1%		82.0%		-	

公共交通・渋滞対策課

課長 羽田野 雅司

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	鉄道対策事業
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取り組み	地域公共交通の維持と利用促進	
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進	5つの重点目標			
			松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	鉄道対策事業費

<事業の狙い> 事業計画年度 23 ~

上高地線の整備費を補助することにより、地域・観光の足として欠かせない上高地線の存続に向けた整備を促進し、輸送力強化及び安全性を確保する。南松本駅の多目的トイレ及びエレベーターを整備し、バリアフリー化バリアフリー化を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 上高地線
概要
老朽化した鉄道施設を大規模改修するにあたり、国及び県と協調してアルピコ交通株式会社へ整備費を補助するもの。
負担割合
国1/3, 県1/6
市は、1/6の協調補助に加え、単独で2/21を加え、嵩上補助をしている。
R1年度事業
踏切保安設備更新、レール交換、電柱建替(コンクリート柱化)
補助額23,890千円
2 南松本駅バリアフリー化
概要
南松本駅にエレベーター及び多機能トイレを設置
負担割合
R1年度 市1/3, JR2/3
(本工事 国1/3, 市及び県1/3 県は上限2,000万円, JR1/3)
R1年度事業
R2~3年に実施する本工事に向けた詳細設計を実施
補助額 9,070千円

<現状に対する認識>

1 上高地線
上高地線の利用は近年増加傾向にあるが、アルピコ交通単独では十分な設改修ができず行政の支援が欠かせない状況であるため、継続して支援していく。
2 南松本駅バリアフリー化
R1年度までの設計は計画通り実施されている。本工事も計画通り実施されるよう、支援していく。

<指標の達成状況>

総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	上高地線年間利用者数				
指標の設定理由	上高地線の維持には施設の改修に加え、市民が利用することが必要であるため				
目標値	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000
実績値	1,680,000	1,680,000	1,715,000	1,750,000	
達成度	105.0%	105.0%	107.2%	109.4%	-
成果指標(指標名)	上高地線改修計画の完了工事数				
指標の設定理由	事業進捗状況を把握するため(工事数 H23~R1: 19, R2~11: 11)				
目標値	19	19	19	19	11
実績値	12	14	16	19	
達成度	63.2%	73.7%	84.2%	100.0%	-

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	39,585		42,229		39,321		32,960		73,120	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	39,585		42,229		39,321		32,960		73,120	
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工	1,520	人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	1,520	0.2		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	41,123		43,747		40,831		34,480		74,658	
前年度比	-		106.4%		93.3%		84.4%		-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	交通対策事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	交通対策事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		次世代交通政策の可視化・具現化
5つの重点目標		
松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

バス停、鉄道駅から一定以上の距離がある「交通空白地域」において、地域住民が主体となって交通手段を確保し交通空白地域を解消する。
市が運行するバス路線等(西部地域コミュニティバス、市営バス等)の事業内容を評価・検証し、利便性向上と利用拡大を図る。
公共交通利用者の拡大とノーマイカー運動を推進する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 地域主導型公共交通事業(地域バス)
地域住民組織が主体となって運行するバス運行に、850万円を上限として補助金を交付する。R1年度補助対象路線 波田循環バス、ほしみ線、中山線、入山辺線、浅間大村線 35,810千円 R1年度利用者数 32,501人
- 評価検証
松本市が補助金を交付するバス路線及び市営バスの利用分析等を評価検証する。R1年度実績 2,453千円
- ノーマイカー推進市民会議
持続可能な人と環境に優しいまちづくりのため、ノーマイカーデー運動を推進するため、ノーマイカー推進市民会議を運営。加入数40団体
松本ノーマイカーデーにて、トランジットモールを実施。中町通りにて、年2日間、歩行者空間を創出
- 平日ノーマイカーデー
通勤の自家用車利用回避を目的に平日ノーマイカーデー(5日間)を実施。バス優先レーン、臨時パークアンドライド駐車場の設置、バスの増便、交通量調査を実施。通過車両が3.28%減少
- 白骨温泉線への運行補助
冬季間の地元住民や観光客の足を確保するため、白骨温泉線に補助金を交付するもの。R1年度実績 550千円 利用者数4,587人

< 現状に対する認識 >

地域バス導入の機運が高まる地区が増加し、R1年度までに5路線、R2年度は1路線を加え6路線の運行となる。更に利用者数が増加するように、利用促進や運行の見直しを実施するよう連携して検討する。
ノーマイカー運動推進会議については、中町通りの歩行者空間化において、トランジットモールの地域同意が取れていないため、できることから進めていく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	地域における公共交通運営主体の形成				
指標の設定理由	地域が公共交通の運行に積極的にに関わり、新たな運営主体として参画することを目指すため				
目標値	5	5	5	5	5
実績値	3	4	5	5	
達成度	60.0%	80.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)	ノーマイカー推進市民会議				
指標の設定理由	ノーマイカー推進市民会議加入団体への加入を促進し、ノーマイカー運動を推進するため				
目標値	39	39	39	40	40
実績値	39	39	40	40	
達成度	100.0%	100.0%	102.6%	100.0%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	16,299		33,381		44,726		46,271		52,620	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	16,299		33,381		44,726		46,271		52,620	
人件費(千円)	1,923	人工	1,898	人工	1,888	人工	1,900	人工		人工
正規	1,923	0.25	1,898	0.25	1,888	0.25	1900	0.25		
嘱託	0	0	0		0		0			
合計コスト +	18,222		35,279		46,614		48,171		54,543	
前年度比	-		193.6%		132.1%		103.3%		-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	パークアンドライド推進事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	パークアンドライド推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

自動車優先社会からの転換を図り、公共交通の利用促進を図る。通勤における公共交通への乗換え促進、中心市街地への自動車流入抑制する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

【JR東日本平田駅・アルピコ交通上高地線大庭駅・新村駅】
平田駅
・供用開始：H19.3.18(H24.4.1有料化、H26.10.1拡張77台 133台)
・使用料：24時間ごと200円
・駐車枠：133台
・目標利用率：85% (年間41263台)
大庭駅
・供用開始：H29.12.25
・使用料：24時間ごと200円
・駐車枠：51台
・目標利用率：60% (年間11,169台)
新村駅
・供用開始：H13.4.1
・使用料：無料
・駐車枠：50台
・目標利用率：60% (年間10,950台)
(新村-松本往復運賃 720円 + 駐車場 0円 = 720円)
(大庭-松本往復運賃 340円 + 駐車場 200円 = 540円)
合計 目標利用率：74% (年間63,382台)
【その他パークアンドライド駐車場】
新島々10台 四賀支所20台 梓川支所8台 七嵐8台

< 現状に対する認識 >

平田駅
平日9-17時という通勤時間帯は、恒常的に満車の状態であり、拡張を検討。
大庭駅・新村駅
利用率は前年度比で改善している(大庭駅H30年度：30.8% H31年度：42.4%、新村駅H30年度：41.9% H31年度：45.6%)。周知に努め、利用率を更に上げる必要がある。

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		地域公共交通の維持と利用促進
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用台数(平田駅・大庭駅・新村駅)				
指標の設定理由	約74%の利用台数(133台×85%+51台×60%+50台×60%)×365日				
目標値	52,432	55,492	63,382	63,382	63,382
実績値	51,649	54,513	57,024	60,218	
達成度	98.5%	98.2%	90.0%	95.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	-4213	52339	-4951	-4943	-4590					
国・県										
利用者負担金	-10455	-11156	-12104	-12804	-12820					
その他										
一般財源	6,242	63,495	7,153	7,861	8,230					
人件費(千円)	1,154	人工	1138.5	人工	1153.5	人工	1153.5	人工		人工
正規	1,154	0.15	1138.5	0.15	1153.5	0.15	1153.5	0.15		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	-3059.5	53477.5	-3797.5	-3789.5	-3436.5					
前年度比	-	-1747.9%	-7.1%	99.8%	-					

事務事業評価票

事務事業名	バス対策事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	バス対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
バス運行により、交通空白地域を解消し、市民の移動手段を確保する。バスの利便性や利用環境を向上し、利用促進を図る。	

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- バス運行補助
西部地域コミュニティバス、南部循環線、四賀線、稲核線、アルプス公園線、空港・朝日線、内田線の運行を補助する。R1年度補助金額 76,931千円
- 市営バスの運行
市営バス四賀線及び奈川線を委託運行する。R1年度委託料 28,375千円
- バス待ち環境整備事業
バス停において、ベンチや屋根などのバス待ち環境の改善を図るとともに、バスの乗り降りしやすい環境を図る。
R1年度「松本第一高校」バス停の屋根の設置 5,027千円
- バス車両更新
西部地域コミュニティバス、市営バス、南部循環線の運行に必要なバス車両を更新する。R1年度 西部地域コミュニティバス3台、市営バス奈川線バス1台更新 21,368千円
- 地域公共交通協議会
地域公共交通を維持・活性化し、利用を促進するため、松本市地域公共交通協議会の事業を運営する。R1年度負担金 3,230千円
- バスロケーションシステム
バス利用者にバスの位置情報を発信するため、車載器通信費、サーバ使用料等負担する。R1年度負担金 3,230千円

< 現状に対する認識 >

西部地域コミュニティバス、市営バス四賀線、奈川線の利用者は、H27年度をピークに減少傾向にあります。利用者のニーズに合った見直しを検討する。また、市営バス四賀線、奈川線については、人口減少が一因であるため、運行形態、便数等効率化を検討する。

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくま	市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み	次世代交通政策の可視化・具現化	
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略	コンパクトな都市と賑わいの創出	

< 指標の達成状況 >

区分	総合評価		B		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	西部地域コミュニティバス1便当たり利用者数				
指標の設定理由	便数の増減にかかわらず利用率を測ることができるため。				
目標値	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4
実績値	3.4	3.3	3.0	2.9	
達成度	100.0%	96.2%	89.1%	85.2%	-
成果指標(指標名)	市営バス1便当たり利用者数				
指標の設定理由	便数の増減にかかわらず、利用率を測ることができるため。				
目標値	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
実績値	4.8	4.5	4.1	3.8	
達成度	100.0%	93.8%	85.4%	79.2%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	41,754	112,688	149,195	142,292	168,930
国・県	2,813	7,195	10,563	11,908	8,780
利用者負担金	1,949	2,233	2,061	1,957	3,120
その他			2,000	1,000	
一般財源	36,992	103,260	134,571	127,427	157,030
人件費(千円)	20,763	20,493	20,385	20,763	
正規	20,763	20,493	20,385	20,763	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	62,517	133,181	169,580	163,055	189,693
前年度比	-	213.0%	127.3%	96.2%	-

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	自転車利用促進事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		地域公共交通の維持と利用促進
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	自転車利用促進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

公共交通機関から乗り換えて目的地までの移動手段となるシェアサイクルを実施するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

シェアサイクル事業	
市が実施主体、民間事業者が運営主体として、公民連携で実施する。	
開始日	H31.3.27
協定期間	H31年度からR3年度(協議のうえ合意に至れば延長可能)
体制	実施主体:松本市・運営主体:OpenStreet株式会社
規模	自転車・ステーション:100台・15カ所 130台・24カ所(R1年度末)
利用回数	H30年度:91回(5日間)、H31年度:18,769回
利用者	市民等約60%・観光客40%
予算額	負担金 H31年度:16,890千円 H31年度:7,130千円 R2年度:0千円
受益者負担:15分ごと60円(24時間最大1,000円) 料金体系の変更を予定 「レンタサイクル事業「すいすいたウン」」	
無料レンタサイクル。管理業務を一部委託。R2年度末に終了予定	
開始日	H15.4.20(H29年度環境省補助事業で車両更新)
規模	自転車100台(実稼働55台)、貸出し施設8カ所
利用回数	H30年度:15,589回、H31年度:13,186回
予算額	委託料 R2年度:2,160千円
利用者	市民等約15%、観光客85%
受益者負担:	なし
終了する理由	市の事業をシェアサイクル事業に統一するため。

<現状に対する認識>

シェアサイクル	
R3年度終了時点において、利用状況・収支状況から、事業者の運営が厳しい状況	
(観光客)新型コロナウイルス感染症の影響減、国内観光需要の回復と併せ伸張する見込み	
(市民)目的地での大型ステーション設置を検討。定額プラン等使いやすい料金を検討	

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	シェアサイクル利用回数				
指標の設定理由	事業者アンケート(5社回答)結果の中間3社の平均値から設定				
目標値				14,000	38,000
実績値				18,769	
達成度				134.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	0	3,670	3,024	18,790	9,290
国・県		-2149			
利用者負担金					
その他					
一般財源		5,819	3,024	18,790	9,290
人件費(千円)	3,845	人工 3795	人工 3845	人工 3845	人工
正規	3,845	0.5 3795	0.5 3845	0.5 3845	0.5
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	3,845	7,465	6,869	22,635	13,135
前年度比	-	194.1%	92.0%	329.5%	-

事務事業評価票

事務事業名	周遊バス運行事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	周遊バス運行事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	29 ~
--------	------

中心市街地において、車を優先した社会の転換を図り、市民および来街者の回遊を促すため、健康や環境に配慮した交通手段を提供する。
高密度で運行し、市民や観光客の利便性を向上させる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 日乗車券の印刷(R1年度実績:大人10,000枚・小児1,000枚)
時刻表の印刷(R1年度実績:42,050部)
1日乗車券は、バスの案内人及び車内で販売
時刻表はバス停にボックスを据付けて時刻表を設置
- 2 周遊バス案内
案内業務 松本駅お城口の忍者等に扮して案内(R1年度実績:82日間)
旅行雑誌等の掲載 (R1年度実績:5誌)
アナウンスデータ更新(R1年度実績:2回)
- 3 車両購入
H29年度実績 小型バス3台 61,570,110円
H30年度実績 小型バス3台 65,548,410円
R1年度実績 中型バス1台 26,548,700円、小型バス2台 45,161,160円
- 4 負担金
運行経費から運行収入を引いた金額をアルピコ交通へ支払(H29.8~)
H29年度実績 42,340,656円
H30年度実績 73,444,403円
R1年度実績 77,089,424円
- 5 車両ラッピング
購入車両(R1実績:中型バス1台と小型バス2台)、
開智学校号(R1年度実績:1台)
- 6 R1年度の一便当たりの利用者数(10.5人/便)

< 現状に対する認識 >

H26年度の減便以降、タウンズニーカーの利用者が毎年減少していたが、H29年度の増便及びルート変更により、利用者数が増加し、中心市街地を周遊するバスとしての機能が回復し、R1年度末の利用者は381,051人となり、H28年度末と比較し2.9倍まで増加した。
今後は、一便当たりの利用者数が低い南と西コースについて、ダイヤやコースの見直し等、利用者数を上げていく検討を行う。

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進	5つの重点目標		4	暮らしと生活の基盤づくり
				松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	タウンズニーカー年間利用者数				
指標の設定理由	利用者を増やす事で、周遊バスを存続させ、移動しやすい空間を創出する				
目標値		387,834	387,834	387,834	387,834
実績値	129,278	283,455	372,414	381,051	
達成度	-	73.1%	96.0%	98.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	0	115,980	144,358	156,542	89,940					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	0	115,980	144,358	156,542	89,940					
人件費(千円)	1,538	人工 1518	人工 2265	人工 1823	人工					
正規	1,538	0.2	1518	0.2	2265	0.3	1538	0.2		
嘱託	0	0	0	0	0	0	285	0.1		
合計コスト +	1,538	117,498	146,623	158,365	91,763					
前年度比	-	7639.7%	124.8%	108.0%	-					

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	総合交通戦略推進事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	総合交通戦略推進事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			次世代交通政策の可視化・具現化
5つの重点目標		4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略			コンパクトな都市と賑わいの創出

< 事業の狙い >

事業計画年度

21～

松本市総合交通戦略に位置付けられた個別の事業を進捗管理するもの
平成27年10月策定の松本市次世代交通政策実行計画(松本市総合交通戦略)に位置付けられた個別事業について、事務事業を設定し、推進委員会にて各事業の進行管理、進捗状況の報告検証を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 松本市次世代交通政策実行計画の各施策の進捗状況の報告検証を行う
- 2 実施内容と実績
 成果指標とした交通手段の自動車分担率(パーソントリップ)調査を実施
 調査結果について検証を行い公表した。
 次世代交通政策検討委員会(1回)
 市民と行政が、自動車に依存した社会構造の転換など、次世代の交通のあり方について検討するために意見交換
 令和元年度は、松本市次世代交通政策実行計画の実施状況や実行計画の見直しについて説明し、各分野から多くの意見を頂いた。

< 現状に対する認識 >

代表交通手段の自動車分担率(パーソントリップ)の調査の結果、「通勤・仕事」を目的とした、「中心市街地へ」の移動が、自家用車の割合は53.3%であること、また、中心市街地へ、「自転車」で通勤する市民の多い地域等も判明。
 パーソントリップ調査の結果等から本市の「実態」を多角的に分析し、国の動向や社会情勢等を踏まえた計画となるよう取り組む。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	公共交通利用者数				
指標の設定理由	自動車に過度に依存せず公共交通利用促進を目的とする事業であるため				
目標値	26,514人	26,514人	26,514人	26,514人	26,514
実績値	23,500人	25,800人	26,200人		
達成度	88.6%	97.3%	98.8%	0.0%	-
成果指標(指標名)	松本市次世代交通政策実行計画の進捗率(短期重点施策の着手率)				
指標の設定理由	短期5年間に着手する施策を計画の中で設定している				
目標値	17件	17件	17件	17件	17件
実績値(累計)	6件	11件	12件	15件	
達成度	35.3%	64.7%	70.6%	88.2%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	2,818		94		318		7,738		3,960	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,818		94		318		7,738		3,960	
人件費(千円)	9,228	人工	9108	人工	9228	人工	9228	人工		人工
正規	9,228	1.2	9108	1.2	9228	1.2	9228	1.2		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	12,046		9,202		9,546		16,966		13,188	
前年度比	-		76.4%		103.7%		177.7%		-	

都市政策課

課長 桐沢 明雄

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	許認可事務(都市計画法第53条の許可、地区計画他)
-------	---------------------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進	5つの重点目標	松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

良好な都市環境、秩序ある市街地の形成を図るため、必要な許認可を行い合わせて指導、助言する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

都市計画法第53条	23件	開発審査会	4件
都市計画法第58条	8件	大規模小売店舗立地法	1件
都市計画法第58条の2	73件	国土利用計画法	14件
建築計画協議	281件	公有地拡大法	6件
都市計画証明	30件	農振除外事前協議	15件
立地適正化計画	58件	被相続人居住用家屋等確認書	21件
開発協議	37件	建築審査会	0件

主な申請内容

○都市計画法第53条の許可

良好なまちづくりのために、あらかじめ道路や公園など(都市施設)の位置を定め、その場所では、将来支障となる建築などの行為に対し制限がかけられている。制限の場所に建築等をする場合に申請を行い、許可を受けて建築行為ができるもの。

○都市計画法第58条の2(地区計画区域内における手続き)

地区計画が定められている区域では、建築物の建築、土地の区画形質の変更や工作物の建設等(擁壁、垣・さくの設置)をする場合は、その工事着手30日前までに届出をする必要がある。

申請に対し適切な審査・指導・助言を行う

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	対応件数(許認可業務のため目標設定は不適切)				
指標の設定理由					
目標値					
実績値	535	535	472	571	
達成度	-	-	-	-	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	0		0		0		0		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源										
人件費(千円)	4,438	人工	4,236	人工	3,844	人工	4,250	人工		人工
正規	4,153	0.54	3,947	0.52	3,549	0.47	3,952	0.52		
嘱託	285	0.1	289	0.1	295	0.1	298	0.1		
合計コスト +	4,438		4,236		3,844		4,250		0	
前年度比	-		95.5%		90.7%		110.6%		-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	都市計画策定事業費(基礎調査および都市構造の可視化分析)
-------	------------------------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進	5つの重点目標	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H27~

GISを用いて人口や土地利用などの空間分布を分析し、地域特性や経年変化などを把握することによって、都市計画等の立案及び各種政策の客観的根拠の資料となるもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 都市計画基礎調査
都市計画法第6条第1項に基づき概ね5年ごとに人口規模、土地利用、交通量などの事項に関する現況及び将来の見通しについて、県からの委託事業として調査する。(平成29年度実施、次回は令和4年度予定)
- 都市構造の可視化
住民基本台帳データをGIS上に展開し、医療、福祉、商業、交通といった各種施設位置や危険箇所などの情報と重ねることで、都市の情報分析を行う。3年に一度、分析業務を委託し、統計資料では把握できない地域特性等を把握(市内外の人口異動(世代別・性別等)、医療や交通へのアクセス、ハザードエリア内居住者の把握など)

都市構造の可視化について、令和元年度の取組み

- ・分析結果を各種計画及び施策立案に利用
- ・庁内GISなどのシステムに公開し、他部局の利用促進を図り、地区診断書等の作成を行っている。

<現状に対する確認>

- ・GISデータの更なる整備(町会区分図及び通学路図等)
- ・住民ポイントデータを活用し防災、福祉、税務、環境などの他部局での活用

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	周辺の自然や農地とのバランスがとれた開発が行われていると思う市民の割合				
指標の設定理由					
目標値	50.2	52.7	55.1	57.6	60
実績値	50.2	-	46.7	-	-
達成度	100.0%	-	84.8%	-	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	0		6,902		4,914		0		0	
国・県			3,781							
利用者負担金										
その他										
一般財源			3,121		4,914					
人件費(千円)	3,614	人工	3,567	人工	3,549	人工	3,572	人工		人工
正規	3,614	0.47	3,567	0.47	3,549	0.47	3,572	0.47		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	3,614		10,469		8,463		3,572		0	
前年度比	-		289.7%		80.8%		42.2%		-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	都市計画策定事業(基本図更新)
-------	-----------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進	5つの重点目標	松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H19~

計画的土地利用による快適な都市の形成をめざすため、測量法に基づき、都市計画の基本となる松本市基本図の更新整備を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 基本図(1/2,500 1/10,000)更新の目的
基本図は、庁内での使用や市民等へ販売し、観光マップや地図、資料作成など様々な用途に活用されている。
地形等は年々変化するため、定期的に情報を更新するもの。
- 基本図更新の周期
基本図(1/2,500)は182図郭に松本市を分割している。都市計画区域内は概ね5年周期、都市計画区域外は概ね7年周期で修正を行う。令和元年度は21図郭の修正、更新を行った。
基本図(1/10,000)は、基本図(1/2,500)の修正箇所をもとに修正、更新を行った。

< 現状に対する認識 >

--

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	地図更新面積				
指標の設定理由	計画的更新が必要であるため。				
目標値	45.00	45.12	51.01	46.42	68.11
実績値	45.00	45.12	51.01	46.42	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	18,299	16,848	18,014	11,968	20,960
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	18,299	16,848	18,014	11,968	20,960
人件費(千円)	1,846	1,594	1,284	1,292	
人工	0.24	0.21	0.17	0.17	
正規	1,846	1,594	1,284	1,292	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	20,145	18,442	19,298	13,260	20,960
前年度比	-	91.5%	104.6%	68.7%	-

事務事業評価票

事務事業名	都市計画策定事業 (村井駅周辺整備)
-------	-----------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い > 事業計画年度 H19～R5

交通結節点であるJR村井駅や周辺地域における交通利便性・快適性を高め、徒歩や自転車で自由に移動できる、安全で安心なまちづくりを実現するため交通環境改善計画を策定し事業を実施する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

村井駅の東西自由通路及び駅施設やアクセス道路整備などについて、平成19年度より地元要望も踏まえ調査・検討を進めている。平成28年度には基本計画に着手し、令和元年度はJR東日本との協定により東西自由通路と橋上駅舎の実施設設計を行っており、令和2年度より起工し4年度中の供用開始を目指し工事を進める。

事業費の内訳

平成29年度:村井駅整備基本計画
30年度:東西自由通路・駅舎基本設計
令和元年度:東西自由通路・駅舎実施設計、駅前広場概略設計
2年度:東西自由通路工事、駅前広場実施設計 他

令和元年度の取組み

JR東日本との協定に基づき、東西自由通路と駅舎の基本設計を完了
JR東日本と新たな協定を締結し、東西自由通路と駅舎の概略設計に着手
東西駅前広場の概略設計を実施
地元が主体となった村井駅整備推進協議会を2回開催
鉄道事業者等の関係機関で構成する村井駅周辺整備連絡協議会を設置

< 現状に対する認識 >

・交通環境を改善するため、連絡協議会や推進協議会等との協議により、東西自由通路や駅施設、東西駅前広場、アクセス道路の整備を推進する。
・駅施設に設置予定の多目的スペースの活用方法等について、方針を決定する。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		次世代交通政策の可視化・具現化
5つの重点目標		
松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

区分	総合評価		A		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	村井駅利用者数(1日当たり平均値)				
指標の設定理由	駅及び周辺施設の利便性向上を図るため				
目標値	3,402	3,552	3,600	3,600	3,600
実績値	3,402	3,566	4,028		
達成度	100.0%	100.4%	111.9%	0.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	0		28,512		16,261		227,700		823,610	
国・県			8,856		2,370		22,130		351,460	
利用者負担金										
その他										
一般財源			19,656		13,891		205,570		472,150	
人件費(千円)	1,615	人工	2,429	人工	4,757	人工	8,968	人工		人工
正規	1,615	0.21	2,429	0.32	4,757	0.63	8,968	1.18		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	1,615		30,941		21,018		236,668		823,610	
前年度比	-		1916.0%		67.9%		1126.1%		-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	都市計画策定事業 (都市計画道路の見直し)
-------	--------------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進	5つの重点目標	松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H23~

松本都市計画道路の約8割は昭和36年に都市計画決定されたものであるが、現状の整備率は約40%にとどまっている。
車優先社会を転換し、徒歩や自転車・公共交通を利用しやすいまちづくりを進める中で、必要性が低い都市計画道路の見直し(廃止・変更)を行い、既存道路ネットワークを有効活用した効率的・効果的な道路整備を推進する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

全体道路網及び内環状線構想の定着を図り、都市計画道路見直しによる、都市計画決定の変更を進める。

令和元年度の取組み

- 段階的(5段階)な都市計画道路見直しに向けた検討・協議を継続
- 第1段階として、(都)城山新井線及び(都)松本朝日線の一部廃止手続き(都市計画変更)を完了
- 第2段階として、本郷地区の2路線について、廃止に向けた地元説明会等を実施
- 第3段階の見直しに向けて、惣社・里山辺地区を対象とした検討業務委託を実施

< 現状に対する認識 >

- 庁内調・関係機関調整を進め、段階的(5段階)に都市計画道路の見直しを実施
- 中心市街地における将来道路網(内環状線構想)については、慎重に検討を進め、令和4年度をめどに内環状東線の位置づけ等を定められるよう取り組む。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	都市計画道路の整備率(%)				
指標の設定理由	見直しにより効果的な整備促進を図るため。				
目標値	40.2	40.2	41.0	42.3	46.8
実績値	40.2	41.9	41.9	42.5	
達成度	100.0%	104.2%	102.2%	100.5%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	0	4,801	5,122	3,610	4,700	
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源		4,801	5,122	3,610	4,700	
人件費(千円)	5,844	人工	5,768	人工	5,738	人工
正規	5,844	0.76	5,768	0.76	5,738	0.76
嘱託	0		0		0	
合計コスト +	5,844	10,569	10,860	10,602	4,700	
前年度比	-	180.8%	102.7%	97.6%	-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	都市計画策定事業(空き家対策)
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H27~

近年増加傾向にある空き家について、適切な管理や、発生させにくい環境づくり、利活用の促進を図るため、総合的かつ計画的に取組みを進める「松本市空家等対策計画」に基づき、空き家対策を推進する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 松本市空家等対策協議会の開催
松本市空家等対策計画の実施に関する協議を行うため、法務、不動産、建築などの専門家で構成した協議会を年2回開催し、空き家対策に関する意見聴取を行い空き家対策を進めるもの。
専門家等の学識経験者16名で構成
- 空き家相談
空き家等の総合相談窓口でワンストップによる相談受付
(令和元年度件数136件)
相談内容は活用や管理不全等、多岐にわたるため庁内関連部署と連携し対応
- 松本市空き家バンクの開設
空き家を地域の資源として有効活用を図るため、利活用可能な空き家を紹介する「松本市空き家バンク」を令和元年11月29日に開設
空き家バンクからメール等での問い合わせも増え、空き家の成約が1件、仮契約が2件あった。

・松本市空家等対策計画に基づき、庁内関連部署及び松本市空家等対策協議会との連携により、総合的な対策を推進する。
・空き家バンクについて、問い合わせの数に対し、バンクへの空き家登録が増えないことが課題である。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれていると思う市民の割合				
指標の設定理由	まちなみにそぐわない空き家等の整理・利活用を促進するため。				
目標値	80.8	80.8	80.8	80.8	80.8
実績値	80.8	-	79.2	-	-
達成度	100.0%	-	98.0%	-	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	0		0		1,209		1,440		550	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源					1,209		1,440		550	
人件費(千円)	846	人工	2,581	人工	2,567	人工	4,180	人工		人工
正規	846	0.11	2,581	0.34	2,567	0.34	4,180	0.55		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	846		2,581		3,776		5,620		550	
前年度比	-		305.1%		146.3%		148.8%		-	

事務事業評価票

事務事業名	都市計画策定事業費(松本城を中心としたまちづくり:都市再生整備計画)
-------	------------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H26 ~

「松本城を中心としたまちづくり」として、博物館移転と一体となり魅力的で、回遊性に富む賑わいのあるまちづくりのため、地域資源の魅力を活かした都市再生整備計画を策定し、中心市街地の活性化を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

平成30年度を初年度とする「松本城を中心とした都市再生整備計画」を策定エリア内における施策と連携し総合的に整備を進める。

令和元年度の取組み

松本市の玄関口に相応しい通りとするため、公園通り再整備に向けた道路詳細設計と電線地中化詳細設計を実施

松本城三の丸地区を対象として、駐車場等の低未利用地の増加による都市のスポンジ化対策と、松本城天守へのピスタライン等の地域資源を活用したまちづくりを推進するため、計画コーディネート業務を実施

令和元年度の事業費の内訳

公園通り再整備

電線共同溝詳細設計業務委託、道路詳細設計業務委託

松本城三の丸地区整備

計画コーディネート業務委託(整備構想等の検討)

< 現状に対する認識 >

・松本城を中心としたまちづくりを推進し、一体的なまちの賑わい創出を図るため、松本城三の丸地区整備の将来像や方向性を明確にし、地元と合意形成を図ることが必要

・駐車場等の低未利用地が増加する状況においては、都市のスポンジ化対策の検討を進め、土地所有者等に対して、より魅力的で収益性の高い土地利用のあり方の提案や実現に向けた支援策等の検討が必要

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	エリア内歩行者交通量(6月第1日曜10時~19時)				
指標の設定理由	回遊性を向上させ、歩きたくなる空間整備を推進するため。				
目標値	7,142	7,692	8,241	8,790	9,339
実績値	9,110	9,551	5,282	5,632	
達成度	127.6%	124.2%	64.1%	64.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	1,857		8,850		19,394		15,675		2,300	
国・県					9,690		12,340		1,140	
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,857		8,850		9,704		3,335		1,160	
人件費(千円)	4,076	人工	4,023	人工	4,002	人工	4,028	人工		人工
正規	4,076	0.53	4,023	0.53	4,002	0.53	4,028	0.53		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	5,933		12,873		23,396		19,703		2,300	
前年度比	-		217.0%		181.7%		84.2%		-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	松本市都市計画マスタープラン (区域区分見直し・用途地域等)
-------	-----------------------------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進	5つの重点目標	松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H25～

松本市都市計画マスタープランの改定や第7回区域区分定期見直し、松本市立地適正化計画の運用等により、適正かつ計画的な土地利用を推進し、持続可能な集約型都市構造を実現する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本市都市計画マスタープランは、「市の都市計画に関する基本的な方針」を定めたものであり、市が進める都市計画はこれに即する必要があります。
また、松本市立地適正化計画は、松本市都市計画マスタープランに掲げた「集約型都市構造の実現」を具現化するため、鉄道駅や主要バス停周辺等を中心として、将来においても一定の人口や都市機能等を維持・充実する誘導区域等を定めた計画です。誘導区域外で一定規模以上の建築を行う場合などは、届出等が義務化されます。

令和元年度の取組み

都市計画マスタープランの改定
 ・ 広く市民や関係機関等の意見を反映するため、市民会議を設置し1回開催(第2回は延期)するとともに、庁内連絡会議を2回開催
 ・ 計画改定支援業務委託(R元～R2)を実施
 第7回区域区分定期見直し(定期線引き)に向けて、関係機関等と協議・調整
 松本市立地適正化計画に伴う届出制度等の運用
 届出実績 都市機能誘導 3件、居住誘導 55件

< 現状に対する認識 >

・ 上位計画、関連計画との整合を図りつつ、本市を取巻く新たな課題解決に向けて、松本市都市計画マスタープランを改定する。
 ・ 立地適正化計画等の方針も踏まえ、適正かつ適切な土地利用が行われるよう、用途地域の見直しや地区計画等を検討する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	周辺の自然や農地とのバランスがとれた開発が行われていると思う市民の割合				
指標の設定理由	松本の目指すまちの姿の実現を促すため				
目標値	50.2	52.7	55.1	57.6	60
実績値	50.2	-	46.7	-	-
達成度	100.0%	-	84.8%	-	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	0		2,268		5,774		6,160		6,580	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			2,268		5,774		6,160		6,580	
人件費(千円)	1,000	人工	3,036	人工	3,020	人工	12,616	人工		人工
正規	1,000	0.13	3,036	0.4	3,020	0.4	12,616	1.66		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	1,000		5,304		8,794		18,776		6,580	
前年度比	-		530.6%		165.8%		213.5%		-	

事務事業評価票

事務事業名	都市計画審議会
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

S52 ~

--

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

都市計画審議会とは、都市計画法に基づき、都市計画に関する事項の調査審議を行う機関である。令和元年度は2回開催
委員は、有識者、市議会議員、関係行政機関の職員の定数22名以内(現在20名)で構成

第52回(令和元年10月2日開催)
議案第100号 松本都市計画道路の変更(松本市決定)について
議案第101号 松本都市計画道路の変更(長野県決定)について
議案第102号 松本都市計画用途地域の変更(白板地区)について
報告事項 第7回区域区分定期見直しについて

第53回(令和2年1月30日開催)
議案第103号 松本都市計画地区計画の決定について(岡田東地区)
議案第104号 松本都市計画区域のうち、建築基準法の規定に基づくその他の処理施設(一般廃棄物処理施設及び産業廃棄物処理施設)の用途に供する敷地の位置について(長野県決定)
報告事項 第7回区域区分定期見直しについて

< 現状に対する認識 >

--

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進	5つの重点目標	松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	開催回数				
指標の設定理由	都市計画に定めるべき案件の協議のため				
目標値	4	4	4	4	4
実績値	2	2	2	2	
達成度	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	153	144	138	137	300
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	153	144	138	136	
人件費(千円)	1,538	1,518	1,510	1,520	
正規	1,538	1,518	1,510	1,520	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	1,691	1,662	1,648	1,657	300
前年度比	-	98.3%	99.2%	100.5%	-

事務事業評価票

事務事業名	駐車場配置適正化計画
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H23 ~

歩いて暮らせる魅力的なまちづくり、中心市街地を活性化するために駐車場に係る施策を検討・策定する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

歩行者と自動車の錯そを減らし、無秩序な時間貸し駐車場の増加を抑制するため、駐車場配置適正化区域の設定し、届出制度や路外駐車場配置等基準を定める条例を制定する。

(条例骨子)

- ・対象区域 お城周辺地区第2ブロックまちづくり協定の範囲(城西2丁目、大手2丁目、大手3丁目、丸の内の各一部)
- ・対象施設 特定路外駐車場(駐車マス面積が30m²以上のコインパーキング等)を整備する場合などは、届出や配置等基準への適合が義務化

令和元年度の取組み

R元.8 ~ 条例骨子素案について、地元町会やお城周辺地区まちづくり推進協議会、関係団体へ説明

R2.2.6 建設環境委員協議会へ協議

R2.2.7~3.8 条例骨子(案)について、パブリックコメントを実施あわせて地元町会へ回覧

< 現状に対する認識 >

・令和2年6月定例会へ条例案を提出予定

・条例化による事業効果を検証したうえで、区域の拡大等を検討

・公共交通の充実や自転車施策、回遊性の高い歩行空間整備等との連携した対応が課題

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

公約	主な取り組み
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	まちなか歩行者数(次世代交通政策指標)				
指標の設定理由	歩いて暮らせるまちづくりとして、まちなかの回遊性向上を図るため				
目標値	38,600	39,300	42,000	42,000	42,000人/9h
実績値	42,000	15,100	40,900	33,000	
達成度	108.8%	38.4%	97.4%	78.6%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	1,792	4,104	0	0	0
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,792	4,104	0	0	0
人件費(千円)	2,615	2,581	2,567	2,584	
人工					
正規	2,615	0.34	2,581	0.34	2,567
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	4,407	6,685	2,567	2,584	0
前年度比	-	151.7%	38.4%	100.7%	-

事務事業評価票

事務事業名	地区計画
-------	------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H4~

地域の特性を活かした魅力あるまちづくりのため、地区計画を策定し建築行為等の誘導・規制を行い、住環境を保護する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

地区計画は、良好な住環境の創出や周辺環境と調和した工業団地の形成などを目的として、地域の特性に応じた建物の建て方ルールなどを定めた、都市計画法に基づく制度の一つ。

令和元年度までの取組み

市内38地区、延べ293.8haで都市計画決定
(主に土地区画整理事業の実施にあわせて、住民の参加と協力のもと市が検討)

令和元年度の取組み

岡田東地区地区計画(1.1ha)を都市計画決定
(土地区画整理事業により整備した造成地について、緑豊かな市街地の形成を目的として、建築物の建築等に関わる規制・誘導内容を設定)

令和2年度の事業費の予定

地区計画検討業務委託
(病院等の都市機能の維持・充実や郊外部のコミュニティ維持に向けた制度検討や、計画案の作成)

< 現状に対する認識 >

都市機能の維持・充実や適正な土地利用が行われるように、用途地域見直し等とあわせた地区計画の決定が必要

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進	5つの重点目標	松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	地区計画の策定箇所面積(ha)				
指標の設定理由	中小土地区画整理事業整備計画				
目標値	286	290.9	293.8	293.8	294.9
実績値	286	290.9	293.8	294.9	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	0	0	0	0	5,240					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源					5,240					
人件費(千円)	6,075	人工	6,148	人工	6,116	人工	6,156	人工		人工
正規	6,075	0.79	6,148	0.81	6,116	0.81	6,156	0.81		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	6,075		6,148		6,116		6,156		5,240	
前年度比	-		101.2%		99.5%		100.7%		-	

事務事業評価票

事務事業名	防災都市づくり計画
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H30～

最新の基礎データを活用し、災害危険度判定の調査、公表を行い、さらに現在の防災都市計画(平成13年策定)の見直しを行うもの。
調査結果を公表し、災害リスクの周知や自助・共助の取組み促進に活用する。
また、様々な防災施策を含む防災都市づくり計画をまとめ、大規模地震に強いまちづくりを推進する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

事業内容

令和2～3年に防災都市計画(平成13年策定)の見直しを行う。見直しにあたっては、最新の基礎データを活用するとともに大規模地震の発生を想定し、「災害危険度判定」の調査を行う。
調査結果の公表を行うことで、市民へ災害リスク情報を周知し自助・共助の取組促進に活用する。

- 1 平成30年度 全市的な災害特性を整理し、災害危険度判定を実施
- 2 令和元年度 重点区域における詳細な危険度判定を実施
- 3 令和2年度 危険度判定調査結果の公表、施策の検討
- 4 令和2～3年度 専門委員会を設置し、防災都市づくり計画策定
- 5 令和4年度 計画公表、実施

< 現状に対する認識 >

東日本大震災以降、長野県北部地震や熊本地震など発生し、各地で大規模地震がいつ起きてもおかしくない中、特に地震に対する対策が求められている。
超少子高齢型人口減少社会の進展など、耐震化の未実施が地震による被害を拡大させる可能性がある。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み		震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	住宅の耐震化				
指標の設定理由					
目標値	83.0%	85.0%	87.0%	89.0%	90.0%
実績値	82.2%	82.7%	83.3%	83.8%	
達成度	99.0%	97.3%	95.7%	94.2%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	0	0	6,123	5,937	4,790					
国・県			2,500	2,300	880					
利用者負担金										
その他										
一般財源			3,623	4,710	3,910					
人件費(千円)	0	人工	0	人工	1,661	人工	1,672	人工		人工
正規	0		0		1,661	0.22	1,672	0.22		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	0	0	7,784	7,609	4,790					
前年度比	-	-	-	97.8%	-					

事務事業評価票

事務事業名	新市街地開発事業 (中小土地区画整理事業(補助金))
-------	-------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	新市街地開発事業

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

S63~R2

土地区画整理法第3条第1項、第2項の施行者に対して、技術援助及び補助金の交付を行うことで、「健全な市街地の造成を図り、もって公共の福祉の増進に資する」ため

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

土地区画整理事業により、地区の特性を活かした住環境を整備し、健全な市街地の造成を図るため、条件を満たした区画整理組合に対して、技術援助及び補助金の交付を行う

R1年度の状況 (単位:千円)

地区名	ha	実施事業内容	事業費	市補助金
惣社	2.9	埋文調査に要する経費 (補助率60%)	5,400	3,240
		調査設計に要する経費 (補助率100%)	27,031	27,031
岡田東	1.1	舗装工事に要する経費 (補助率100%)	9,400	9,400
		区画造成工事に要する経費 (補助率30%)	31,100	9,330
計	4.0		72,931	49,001

< 現状に対する認識 >

組合施行土地区画整理事業を計画した全42地区233.7ヘクタールは令和元年度末で、229.7ヘクタールが完了した。今後は残る2地区の完了をもって、全ての地区完了を迎える。
今後は残る2地区の予定通りの完了を目指し、有効な土地利用を進めていく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	組合施行事業整備面積(ha)				
指標の設定理由	区画整理(組合施行)実施状況に対する、達成度評価が容易である				
目標値	221.6	221.6	224.7	232.7	233.7
実績値	221.6	221.6	221.6	229.7	
達成度	100.0%	100.0%	98.6%	98.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	136,810	126,101	114,525	49,001	18,400
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	136,810	126,101	114,525	49,001	18,400
人件費(千円)	25,920	25,660	25,600	18,180	
正規	23,070	3	22,770	3	15,200
嘱託	2,850	1	2,890	1	2,980
合計コスト +	162,730	151,761	140,125	67,181	18,400
前年度比	-	93.3%	92.3%	47.9%	-

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	景観形成事業(景観計画の推進)
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H20~

松本の良好な景観の保全や誘導を行うため、景観計画等に基づき事業を推進するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 景観計画
景観計画区域内行為届出 (R1年度 183件)
景観計画で定めた行為の制限事項について、工事着手30日間までに申請し、指導・助言を行う。
景観事前協議制度 (R1年度 4件)
重点的に景観形成を図る中心市街地において、工事着手120日前までに申請を行い、地域特性に応じた細やかな景観誘導を図るもの。
高さ緩和協議 (R1年度 2件)
計画に定められた基準に基づき、景観評価会にて審査を行い、高さ制限の緩和を認めている。
景観審議会 (R1年度 景観審議会2回 景観評価会7回)
景観に関し必要な助言を得るため、景観審議会・専門部会を開催した。
2 風致地区条例 (R1年度8件)
松本城址、城山、浅間の3地区内における建築等に対し、都市の風致保全の観点から許可するもの。
3 再生可能エネルギー発電装置の設置等に係る届出 (R1年度 2件)
再生可能エネルギー発電設備の設置にあたり、市民相互の理解のもと、円滑な設備の設置を促すもの。

<現状に対する認識>

現在の景観計画における景観形成基準が景観事前協議制度を想定したものとなっていないことや、本市の顔となる景観に関する記載が少ないことから、各種制度を活用し、好ましい景観への誘導が図りやすくなるよう、計画の見直しを行う必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	80.8%(3.15)	-	79.2%(3.13)	-	-
達成度	115.4%	-	113.1%	-	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	289		435		272		299		6,720	
国・県									3,160	
利用者負担金										
その他										
一般財源	289		435		272		299		3,560	
人件費(千円)	6,460	人工	8,653	人工	8,607	人工	10,564	人工		人工
正規	6,460	0.84	8,653	1.14	8,607	1.14	10,564	1.39		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	6,749		9,088		8,879		10,863		6,720	
前年度比	-		134.7%		97.7%		122.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	景観形成事業費(松本市景観賞実施事業)
-------	---------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

H元 ~

松本市の良好な景観の保全や誘導を行うため、優れた景観の形成に資する建築物やまちなみ、活動などを表彰する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 松本市景観賞の実施
松本らしい優れた景観に寄与する建築物やまちなみ、まちづくり活動について、広く市民から作品を募集して審査、表彰を行った。
・景観賞応募件数
H29実績 23件
H30実績 22件
R1実績 28件 (平成元年度から実施し、累計の応募数は849件)
- 松本市景観シンポジウムの開催
建築士会、建築士事務所協会と共催で景観シンポジウムを開催し、景観賞の表彰を行うほか、景観フォーラムとして、市民・行政が一体となって優れた景観形成を考える機会を創出した。
・令和元年度開催実績
令和2年1月25日(土) Mウィングホール
- 景観に関する広報
景観賞について市ホームページやSNSで発信するほか、松本駅自由通路での展示を実施した。
個々が見つけた優れた景観を写真と短文で紹介する「フォトエッセイ」講座を平成30年度に続いて実施した。
住宅に関するイベントにブース出展し、良好な景観形成に関する広報を行った。

< 現状に対する認識 >

・新しく建築物などを計画している市民や事業者に対する啓発が不十分であり充実する必要がある。
・事業開始後30年が経過し、マンネリ化を避けるため常に新たな手法を試行する必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	80.8%(3.15)	-	79.2%(3.13)	-	-
達成度	115.4%	-	113.1%	-	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	820		675		704		770		770	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	820		675		704		770		770	
人件費(千円)	3,614	人工	3,719	人工	3,700	人工	3,724	人工		人工
正規	3,614	0.47	3,719	0.49	3,700	0.49	3,724	0.49		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	4,434		4,394		4,404		4,494		770	
前年度比	-		99.1%		100.2%		102.1%		-	

事務事業評価票

事務事業名	景観形成事業(屋外広告物条例の推進)
-------	--------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

H20~

松本の良好な景観を保全、形成するため、松本市屋外広告物条例に基づき、屋外広告物を表示、設置する場合の基準を定め許可を行うもの。
また、屋外広告物の倒壊や落下による事故を防止するため、定期点検を義務化したほか、違反広告物については除却などの指導を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

景観の重要な構成要素である屋外広告物の適正表示と良好な景観形成への誘導を図るため、許可物件の許可事務及び違反対応を行う。

- ・許可申請数
(H29許可実績 436件)
(H30許可実績 417件)
(R元許可実績 355件)
- ・違反処理件数
(H29実績 87件)
(H30実績 11件)
(R元実績 10件)

< 現状に対する認識 >

- ・中核市移行に向けて条例の全面改正を行う必要がある。
- ・条例施行後10年以上が経過し、表示される屋外広告物に改善が図られており、また、申請数の増加に伴って事務量が增大していることから、事務の見直しを検討している。
- ・違反広告物調査を行うなど、無許可や基準を満たしていない違反広告物の把握に努め、違反に対する是正指導を行うことにより良好な景観を保全する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	80.8%(3.15)	-	79.2%(3.13)	-	-
達成度	115.4%	-	113.1%	-	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	0		642		567		0		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			642		567		0		0	
人件費(千円)	3,789	人工	11,236	人工	11,215	人工	11,294	人工		人工
正規	3,076	0.4	9,791	1.29	9,740	1.29	9,804	1.29		
嘱託	713	0.25	1,445	0.5	1,475	0.5	1,490	0.5		
合計コスト +	3,789		11,878		11,782		11,294		0	
前年度比	-		313.5%		99.2%		95.9%		-	

事務事業評価票

事務事業名	景観形成事業費(歴史まちづくり事業)
-------	--------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

H23~

松本城を中心とした城下町松本の歴史的風致の維持・向上を図るため、松本市歴史的風致維持向上計画を策定し、関係する事業を実施する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 松本市歴史的風致維持向上協議会の開催
協議会を年3回開催し、第1期計画の最終評価及び第2期計画の策定について協議を実施。
・市内各団体の代表や有識者14名で構成
- 松本市歴史的風致維持向上計画(第2期)の策定作業
歴史的風致の維持・向上を引き続き図るため、令和3年度から12年度までを計画期間とする第2期計画の策定作業と第1期計画の最終評価に着手した。
- 松本市近代遺産の登録
歴史的風致維持向上計画における重点区域(松本城周辺の区域)内において、50年を経過した建築物等で歴史的価値があり、指定文化財以外のものを登録して、保全・活用を行う。
・令和元年度までに124件を登録
・ホームページへの掲載など周知広報の実施
・保全について技術的な支援を行う歴まちアドバイザーの設置

< 現状に対する認識 >

・第1期計画記載の事業については概ね順調に進捗しているが、松本城周辺の大型プロジェクトが進行していることから、第2期計画を策定して引き続き松本城を中心とした歴史的風致の維持向上を図る必要がある。
・登録された松本市近代遺産について、所有者の都合により除却されてしまう状況があるため、制度のより一層の周知を図っていく必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	80.8%(3.15)	-	79.2%(3.13)	-	-
達成度	115.4%	-	113.1%	-	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	2,778	185	591	220	1,260					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,778	185	591	220	1,260					
人件費(千円)	5,620	人工	5,432	人工	5,488	人工	5,526	人工		人工
正規	5,306	0.69	5,085	0.67	5,134	0.68	5,168	0.68		
嘱託	314	0.11	347	0.12	354	0.12	358	0.12		
合計コスト +	8,398		5,617		6,079		5,746		1,260	
前年度比	-		66.9%		108.2%		94.5%		-	

事務事業評価票

事務事業名	景観形成事業費(公共案内サイン整備事業)
-------	----------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

H15~

公共により市街地に案内サインを設置することで、観光客を含む来街者すべてにおもてなしの心を伝えるとともに、松本の良好な景観の保全や誘導を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

平成15年に策定した「松本市公共案内サイン基本計画」に基づき、多様な市民や来訪者が安心して目的地を目指せるよう、ユニバーサルデザインに沿った案内サインへと改良し、回遊性を高め中心市街地の活性化を図るもの。

H28 庁内調整の上、施設の外国語表記について検討
H29 公共案内サインを修正・更新(以後5年毎に見直し)
R1からR2

既存盤面の維持修繕
既存盤面設置位置の検証
ピクトグラム、多言語表示に関する関係課情報共有

R3 板面更新計画業務委託
R4 板面更新

< 現状に対する認識 >

インバウンドの増加により、多様な市民や来訪者が安心して目的地を目指せるようユニバーサルデザインに沿った案内サインに改良し、回遊性を高め、中心市街地の活性化を図る事が必要。

また、旧開智学校の国宝化や基幹博物館・内環状北線の整備等、地図へ追加すべき情報への対応も必要。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	80.8%(3.15)	-	79.2%(3.13)	-	-
達成度	115.4%	-	113.1%	-	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	0		4,028		364		0		500	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	0		4,028		364		0		500	
人件費(千円)	912	人工	828	人工	529	人工	532	人工		人工
正規	769	0.1	683	0.09	529	0.07	532	0.07		
嘱託	143	0.05	145	0.05	0	0	0			
合計コスト +	912		4,856		893		532		500	
前年度比	-		532.7%		18.4%		59.6%		-	

事務事業評価票

事務事業名	街なみ修景事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	街なみ修景事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

H元～

修景補助により良好な街なみ形成を促すもの。特に松本城三の丸地区では、博物館の移転、南西外堀復元など、大型公共事業が予定されているため、まちづくり協定を活用した民間活力導入など、松本城三の丸地区整備基本方針に基づいた一体的な整備を促進するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

まちづくり協定に基づき建物のファサード(道路に面する正面の部分)修景を行う場合に整備費用に対して一部補助を行うもの。

- 1 補助額 整備費の2/3 上限300万円
- 2 対象地区 お城周辺地区まちづくり推進協議会第2ブロック
- 3 国補 社会資本総合交付金事業で事業を実施
活動指標は、補助件数をもって行うが、補助の有無にかかわらず、街なみ修景基準を普及し、良好な景観形成を目指す。

経過

H29: 建築士会に委託し、修景基準案をまちづくり推進協議会へ提示
H30: お城周辺地区第2ブロックの修景補助を開始(実施件数 2件)
R 1: 実施件数1件

< 現状に対する認識 >

大名町通りや内環状北線などの事業に合わせ、三の丸地区の店舗、事業所、住宅が、関連事業や各地区に即したまちなみガイドライン・修景基準に沿い、まちなみにふさわしいデザインとなるよう補助制度の活用を促す。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	景観に配慮した三の丸協定区域内のファサードの増加数				
指標の設定理由	ファサードの修景により良好な街なみの形成が図られるため				
目標値	0.0	0.0	3.0	8.0	13.0
実績値	0	0	2	1	
達成度	-	-	66.7%	12.5%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	0		1,792		3,071		1,736		9,000	
国・県					1,523		860		4,500	
利用者負担金										
その他										
一般財源			1,792		1,548		876		4,500	
人件費(千円)	0	人工	1,594	人工	1,586	人工	1,596	人工		人工
正規	0	0	1,594	0.21	1,586	0.21	1,596	0.21		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0			
合計コスト +	0		3,386		4,657		3,332		9,000	
前年度比	-		-		137.5%		71.6%		-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	市街地開発事業費 (施設管理事業)
-------	----------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち	主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	市街地開発事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H27~

中心市街地を車から、人主体のまちなかを歩きやすい通りに転換を図る上で道路の空間構成の変更と共に、まちなかのオープンスペースを中心に、緑陰の確保、ベンチ、テーブル等の休憩施設の整備、再配置を行うことで有効に活用される良質な憩いの空間を創出し、まちなかに滞留が生まれ、中心市街地の活動、活性化が生まれる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

地域の魅力を向上させ、まちなかの人口誘導により活性化を図るため、本市の特色である湧水箇所など多くの人が訪れる場所や、小公園等、中心市街地の活性化を推進するもの。

1 R1までの取組み

水と緑の空間整備事業

中心市街地の公共の井戸、公共空間の小公園、緑地の整備

整備箇所 23カ所

指定管理施設(完全利用料金制)

中町蔵シック館(指定管理者:中町(蔵のある)まちづくり推進協議会)

下町会館(指定管理者:お城下町まちづくり推進協議会)

(仮称)枳形跡広場(行政財産目的外使用)

大手門枳形があった旧鶴林道書店跡地について、埋蔵文化財調査をするまでの間、民間事業者の活用可能な広場として運用するもの。

R2年度 33件

2 R2以降の取組み

水と緑の空間整備事業:千歳橋周辺(R2年度)

指定管理施設、枳形跡広場:まちの賑わいに資する継続的な運用

<現状に対する認識>

水と緑の空間整備事業がR2年度に完了するため、整備済箇所の維持管理の他、中心市街地の水と緑を豊かにする新たな枠組みを検討します。

指定管理施設において経年による外壁の亀裂等不具合力があることから、改修を行う必要があります。

枳形跡広場の利活用向上や泥濘化・飛砂防止対策を図るため、地元や利用者とともに検討を進めます。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている(市民満足度)				
指標の設定理由	施設管理の実態が市民に浸透しているか定量的に評価するため				
目標値	76%	76%	76%	76%	76%
実績値	61.5%(2.94)	-	60.2%(2.89)	-	-
達成度	80.9%	-	79.2%	-	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	5,920	4,426	17,857	4,540	2,250					
国・県			1,760							
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,920	4,426	16,097	4,540	2,250					
人件費(千円)	5,529	人工	5,526	人工	5,536	人工	5,578	人工		人工
正規	4,076	0.53	4,023	0.53	4,002	0.53	4,028	0.53		
嘱託	1,454	0.51	1,503	0.52	1,534	0.52	1,550	0.52		
合計コスト +	11,449		9,952		23,393		10,118		2,250	
前年度比	-		86.9%		235.1%		43.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	歩いてみたい城下町まちづくり事業
-------	------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	市街地開発事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H22 ~ R2

お城周辺5地区の推進協議会エリアにおける次世代交通政策実現のため、道路の機能別配置、空間の再配置により、歩行者、公共交通を優先する道路整備を行う。
また、「三の丸地区のまちづくり」による整備との整合を図りながら事業を実施する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

国宝松本城とその城下町の街道筋に代表される中心市街地5地区のまちづくり推進協議会が「歩いてみたい城下町まちづくり連合会」を組織し、各地区の特徴、個性を尊重しながら道路整備路線を地区まちづくり推進協議会と共に選定し、車優先から人優先の道路整備(道路美装化、高質化)を実施するもの。

令和元年施工実績

小池町通り 281m
出居番町 123m

R2実施予定箇所

出居番町 108m
伊織霊水前 74m
上土団地前 112m

< 現状に対する認識 >

R2年度が計画期間完了となっており、これまでの実施してきた道路高質化及び各推進協議会の役割の評価検証と、今後まとめられる松本城周辺のビジョン実現のために必要な事業を検討する必要がある。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	市長公約	主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標			
			松本版総合戦略			コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている(市民満足度)				
指標の設定理由	施設整備の実態が市民に浸透しているか定量的に評価するため				
目標値	76.0	76.0	76.0	76.0	76.0
実績値	61.5	-	60.2	-	-
達成度	80.9%	-	79.2%	-	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	25,303		100,920		103,594		126,450		109,440	
国・県	12,385		41,470		51,492		62,975		54,720	
利用者負担金										
その他										
一般財源	12,918		59,450		52,102		63,475		54,720	
人件費(千円)	7,756	人工	7,659	人工	7,622	人工	7,673	人工		人工
正規	7,613	0.99	7,514	0.99	7,475	0.99	7,524	0.99		
嘱託	143	0.05	145	0.05	148	0.05	149	0.05		
合計コスト +	33,059		108,579		111,216		134,123		109,440	
前年度比	-		328.4%		102.4%		120.6%		-	

事務事業評価票

事務事業名	まち歩き推進事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	まち歩き推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H30 ~

市民や来街者がまちを知り楽しむ機会を創出し、まちづくりへの関心を引き付けるとともに、多様な分野の専門家等へ講師等として関わってもらうことで、専門的な知識を得て、まちづくりに協力的な人材を増やす。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

中心市街地のまちづくりを担う、あるいは関わる人材を増やすことを目的とし、まち歩きやワークショップ、講座等を企画運営することで、市民や来訪者が楽しみながら学習する機会を創出する。
松本のまちを深く知り楽しむことで、主体的に関わりたいと思う気持ちやシビックプライドを醸成し、次世代のまちづくりに繋げるもの。

1 都市デザインツアー(2回)
まちの色編(講師 武蔵野美術大学 吉田愼悟教授) 参加者12名
山並みを望む眺望編(講師 都市計画課 倉澤聡氏) 参加者20名

2 松本の風景を伝える街歩きエッセイ講座(1回)
講師 あをぐみ 大輪俊江氏
参加者 8名

3 松本看板学講座(3回)
講師 都市計画課 倉沢聡氏、建築家 長谷川繁幸氏、
イラストレーター 高田美果氏
参加者14名

< 現状に対する認識 >

今年度の一部企画には定員を上回る応募があったが、事業開始2年目であり、企画の質や職員の技能の更なる向上を図る必要がある。また、「眺望点」など本課の事業に関連した企画を模索する。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている(市民満足度)				
指標の設定理由	まちづくりへの理解者をを定量的に評価することが困難なため				
目標値	76.0	76.0	76.0	76.0	76.0
実績値	61.5	-	60.2	-	
達成度	80.9%	-	79.2%	-	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	0		0		175		226		260	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源					175		226		260	
人件費(千円)	0	人工	0	人工	923	人工	912	人工		人工
正規	0	0	0		923	0.12	912	0.12		
嘱託	0	0	0		0		0			
合計コスト +	0		0		1,098		1,138		260	
前年度比	-		-		-		103.7%		-	

交通安全課

課長 羽田野 雅司

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	交通安全対策
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	交通安全対策費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

交通安全運動を市民活動として展開するために、関係団体に補助等を行い、団体の運営を助け、市民への啓発活動を充実する。
また、幼稚園、保育所から高校に至るまでの幼児・児童・生徒に対し、適時、適切な安全教室等に関係機関と連携しながら実施し、日常の交通安全を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 交通安全教室
幼稚園・保育園児・保護者等に対する交通安全教室の実施
小学4年生への、自転車運転免許証の交付
中学・高校生を対象に、自転車運転者向けのリーフレットを配付
高校生対象のスクエアドストレイト(自転車交通安全教室)を拡大実施
福祉ひろば、公民館、高齢者クラブ等からの要望により随時教室実施
- 啓発活動
保育園等へ横断旗配布、新小学1年生対象にランドセルカバー配付、70歳到達者 夜光反射材物品配付、市民頒布用啓発物品販売
市職員、警察、県地域振興局、市民団体協働の街頭啓発活動
- 市民団体に対する活動支援
負担金、補助金を通じた支援、事務支援を通じた支援
松本市交通安全市民運動推進会議
市民自らの手で交通事故を減少させるため、地域に根ざした地道な運動を展開し「安全で快適な交通社会」の実現を目指すことを目的とする。
松本市交通安全協会
地域における交通安全と交通事故防止のため、各種の交通安全活動を通じ、安全で快適な交通社会の実現に寄与することを目的とする。
松本市交通安全母の会
母親などの保護者の立場から交通安全を推進し、交通事故のない明るい平和な地域づくりに寄与することを目的とする。

< 現状に対する認識 >

変化する交通情勢を把握し、世代に合わせた交通安全指導・教育は必須であり、地道に続けていくことで、市民一人ひとりが「思いやりゆずりあい」の心をもち、交通ルール・マナー向上へつなげていく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
成果指標(指標名)	交通事故死傷者数(松本市)				
指標の設定理由	第10次交通安全計画に掲げる目標				
目標値	1,608	1,544	1,479	1,415	1,350
実績値	1,701	1,557	1,337	1,219	
達成度	105.8%	100.8%	90.4%	86.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	9,318		9,164		8,828		8,794		11,390	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	9,318		9,164		8,828		8,794			
人件費(千円)	21,080	人工	20,960	人工	21,000	人工	24,140	人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2	15,200	2		
嘱託	5,700	2	5,780	2	5,900	2	8,940	3		
合計コスト +	30,398		30,124		29,828		32,934		11,390	
前年度比	-		99.1%		99.0%		110.4%		-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	#N/A
-----	-----	----	------------	-----	------

事務事業名	自転車安全利用対策
-------	-----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取り組み	地域公共交通の維持と利用促進
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	自転車安全利用対策費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

自転車の有効活用により、市街地に流入する自動車の絶対数を抑制し、交通渋滞の解消、市街地の賑わいを促す。
 自転車をより効率的に活用するため、秩序ある適正な自転車駐車場を整備する。また放置自転車等の指導・警告・撤去により、安全で快適なまちづくりを目指す。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1	自転車駐車場管理(有料) 松本駅北自転車駐車場 お城口広場自転車駐車場 アルプス口自転車駐車場
2	自転車駐車場管理(無料) 中条自転車駐車場(工事のため休止中) 南松本駅自転車駐車場 島内駅自転車駐車場 島高松駅自転車駐車場 平田駅前広場自転車駐車場 北松本駅自転車駐車場 村井駅自転車駐車場
3	放置自転車対策 放置整理区域内において、指導・警告を行い、撤去する。

< 現状に対する認識 >

・自転車駐車場は、設備機器の老朽化、システム定期券の製造終了のため、駐輪システム等の更新
 ・駅北自転車駐車場の自転車ラックについて経年劣化による更新
 ・お城口広場(有料)、中条自転車駐車場(無料)の整備
 ・村井駅周辺整備により、4月から無料化とし、工事期間中は仮設置

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	放置自転車等撤去台数				
指標の設定理由	放置自転車対策として、計画的に自転車駐車場を整備し、安全で快適なまちづくりを目指す				
目標値	609	589	569	549	529
実績値	662	589	497	295	
達成度	92.0%	100.0%	114.5%	186.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	7,874	20,682	16,652	6,110	117,370
国・県					-16450
利用者負担金	-35,883	-38,222	-23,490	-38,290	-36,850
その他					
一般財源	43,757	58,904	40,142	44,400	170,670
人件費(千円)	19,225	18,975	18,875	19,000	
正規	19,225	2.5	18,975	2.5	19000
嘱託	0	0	0	0	2.5
合計コスト +	27,099	39,657	35,527	25,110	136,595
前年度比	-	146.3%	89.6%	70.7%	-

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	歩行空間あんしん事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	歩行空間あんしん事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

H19～R9

波打ち歩道の改修を中心に、市民生活に直結した道路環境の整備を図り、子どもから高齢者や障害者のすべての人が歩きやすい歩行空間を確保する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 事業内容
マウントアップの歩道について、改修により車道との段差を無くすことにより、宅地などの出入口部分の波打地を解消する。
全体計画 波打ち歩道の改修 L = 14,200m
狭隘な道路で、側溝に蓋掛けをすることで歩行者の通行空間を確保する。
- 令和元年度事業
波打ち歩道の改修
・市道4563号線(寿小赤) L = 247m W = 1.5m
・市道6148号線(神林) L = 52m W = 1.5m
路肩整備(側溝の蓋掛け)
・市道4070号線他(寿台) L = 233m

< 現状に対する認識 >

今後の施工予定箇所は、移転補償(地下埋設物など)が多く、交渉に時間を要することに加え、補償費など事業費の大幅な増加が見込まれる。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	波打ち歩道の改修率				
指標の設定理由	計画改修延長に対する進捗状況を数値化				
目標値	47.0%	49.9%	53.1%	56.2%	60.0%
実績値	48.5%	52.9%	57.7%	59.9%	
達成度	103.2%	106.0%	108.7%	106.6%	-
成果指標(指標名)	交通事故死傷者数				
指標の設定理由	松本市交通安全計画で目標としている数値と現状との比較				
目標値	1,608	1,544	1,479	1,415	1,350
実績値	1,701	1,557	1,337	1,219	
達成度	94.5%	99.2%	110.6%	116.1%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	79,045	64,433	44,166	37,422	0
国・県					
利用者負担金					50,000千円(B経費)
その他					
一般財源	79,045	64,433	44,166	37,422	
人件費(千円)	15,380	15,180	15,100	15,200	
正規	15,380	15,180	15,100	15,200	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	94,425	79,613	59,266	52,622	0
前年度比	-	84.3%	74.4%	88.8%	-

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	単独交通安全施設等整備事業
-------	---------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実	5つの重点目標	松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独交通安全施設等整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

交通安全施設等の整備をすることにより、道路の交通環境を改善し、交通事故の防止と交通の円滑化を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業内容及び令和元年度事業

交差点改良事業
道路形状等により危険性が高い交差点を改良する。
・市道3119号線(中山)補償、工事
・市道梓川1級7号線(梓川倭)工事
・緊急交通安全対策事業(保育園等お散歩コース安全対策)10箇所
歩道設置事業
歩道を新設し歩行空間の安全確保を行う。
・市道2542号線(中央四丁目)用地購入、補償、工事
生活ゾーン交通安全対策事業
ゾーン30により歩行者、自転車、公共交通を優先する区域を設定し、整備を行う。
・ゾーン30設定(警察が設定)
寿小周辺(3箇年に分けて設定)、筑摩野中周辺
・ゾーン30整備(警察が設定した翌年、周辺の整備を実施)
寿小周辺、菅野小・中周辺 看板設置、路面標示
交通安全施設整備
各地区や市民からの交通安全施設の要望により設置を行う。
区画線 L=31,830m
防護柵 L=150m
道路反射鏡 43箇所

各地区からの要望は、多種多様であり件数も多いため、すべての要望には対応できていない。
要望内容をしっかり精査し、効果的な事業実施に務めていく必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	交通事故死傷者数(人)				
指標の設定理由	松本市交通安全計画で目標としている数値と現状との比較				
目標値	1,608	1,544	1,479	1,415	1,350
実績値	1,701	1,557	1,337	1,219	
達成度	94.5%	99.2%	110.6%	116.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	71,803	75,876	103,916	160,620	62,130
国・県				800	
利用者負担金					
その他					
一般財源	71,803	75,876	103,916	159,820	62,130
人件費(千円)	15,380	15,180	15,100	15,200	
正規	15,380	15,180	15,100	15,200	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	87,183	91,056	119,016	175,820	62,130
前年度比	-	104.4%	130.7%	147.7%	-

+36,080千円(B経費)

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	交通安全対策事業(防災安全) (自転車レーン整備事業)
-------	--------------------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実		5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
				松本版総合戦略		

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	交通安全対策事業費(防災安全)

< 事業の狙い >

事業計画年度

H18～R6

自転車レーン等の自転車通行空間整備を行うことにより、自転車関連事故の防止や自転車通行環境の向上を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 整備内容
路肩のカラー化、路面表示、ピクトグラム等の設置を行う。
全体計画 11路線 L=9,350m
- 令和元年度事業
市道5505号線(南松本)L=250m W=1.50m(両側)
- 進捗状況
H18～R元 8路線 L=6,270m整備 整備率は67%

< 現状に対する認識 >

自転車レーンを繋ぐネットワーク化が必要なことから、令和3年度までに策定予定の自転車活用推進計画の中で検討。
整備の財源として必要な国庫補助金の確保

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	整備率				
指標の設定理由	計画整備延長に対する進捗状況を数値化				
目標値	56.6%	56.6%	63.6%	73.0%	87.6%
実績値	61.7%	61.7%	64.7%	67.0%	
達成度	109.0%	109.0%	101.7%	91.8%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	3,150		0		19,040		18,733		0	
国・県					10,472		10,303			
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,150		0		8,568		8,430			
人件費(千円)	769	人工	0	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	0	0	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	3,919		0		19,795		19,493		0	
前年度比	-		0.0%		-		98.5%		-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	交通安全対策事業(防災安全) (交差点改良事業)
-------	-----------------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	交通安全対策事業費(防災安全)

< 事業の狙い >	事業計画年度	H26～R2
交差点の道路形状が悪く、事故の危険性の高い交差点の改良を行い、交通事故の防止と交通の円滑化を図る。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >
1 事業内容 市道2058・2068号線 清水1・2丁目 県道の(都)宮渕新橋上金井線改良工事に合わせ市道部の交差点改良を行う。 ・全体延長 L=80m ・幅員 W=16.0m
2 令和元年度事業 ・不動産鑑定 ・用地購入 A=77㎡(用地取得率58.4%) ・補償物件 上下水道・立木等

< 現状に対する認識 >
県が、県道で無電柱化を行うことになり、事業計画を変更したため、市の交差点改良時期が計画より遅れる。

< 指標の達成状況 >	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事業の進捗率(事業費)				
指標の設定理由	全体の目標数値に対する進捗を数値化				
目標値	20.6%	31.7%	55.6%	89.2%	100.0%
実績値	3.6%	32.3%	54.6%	58.0%	
達成度	17.5%	101.9%	98.2%	65.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	843	80,110	31,044	38,993	3,000					
国・県		43,040	17,074	21,442						
利用者負担金										
その他										
一般財源	843	37,070	13,970	17,551	3,000					
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	1,612		80,869		31,799		39,753		3,000	
前年度比	-		5016.7%		39.3%		125.0%		-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	交通安全対策事業(防災安全) (歩道設置事業)
-------	----------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	交通安全対策事業費(防災安全)

<事業の狙い>

事業計画年度

H30～R2

歩行者の安全・快適性を確保するため、歩行者と車両を分離し、新たに歩道を設置する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

地元要望による歩道整備の中で、通学路等の条件により国の補助対象となった市道の歩道整備を行うための事業で、現在は下記事業のみ実施中。

1 事業内容

市道梓川1級3号線(梓川倭)
梓川小学校の通学路の安全確保として、歩道整備を行っている
・全体延長 L=77m 幅員 W=7.0m(片側歩道2.0m)

2 年度別事業

平成30年度 工事測量、用地測量
令和元年度 工事(水路工)、用地購入、補償(電柱移設)
令和2年度予定 工事(歩道設置)、補償(看板移設)

<現状に対する認識>

計画通りに進捗している
整備の財源として必要な国庫補助金の確保

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	市道梓川1級3号線事業の進捗率(事業費)				
指標の設定理由	全体の目標数値に対しての進捗を数値化				
目標値			18.9%	61.0%	100.0%
実績値			18.9%	61.0%	
達成度			100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)					4,850		10,842		10,000	
国・県					0		5,963			
利用者負担金										
その他										
一般財源	0		0		4,850		4,879		10,000	
人件費(千円)	0	人工	0	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	0		0		755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	0		0		5,605		11,602		10,000	
前年度比	-		-		-		207.0%		-	

建設課

課長 赤間 善浩

事務事業評価票

事務事業名	道路改良事業(社会資本)
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	道路改良事業費(社会資本)

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち		主な取り組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進		5つの重点目標	
				松本版総合戦略	

< 事業の狙い > **事業計画年度** H21 ~ R3

本路線は、松本市総合都市交通計画において、北部と南部を結ぶ中環状線に位置付けており、道路整備により、市街地と郊外のアクセス向上及び交通の円滑化を図る。
 また、本路線の整備により、交通分散による市街地の混雑緩和や市民(歩行者)の安全を確保する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

国の交付金を活用した幹線道路整備事業として、中環状線の市道7003号線及び南北幹線の市道5005号線を整備

- 市道7003号線(島立)
 - 事業年度 H21~R4
 - 事業量
 - ア 総延長 L=1,040m W=15.0m
 - イ H30までの施工延長 L= 400m
 - ウ R元事業内容 工事 L= 160m、用地補償、補償算定
- 市道5005号線(笹部4丁目)
 - 事業年度 H26~R9
 - 事業量
 - 総延長 L= 420m W=11.0m
 - R4から本格着手

< 現状に対する認識 >

市民から早期整備が望まれているが、近年、交付金の配分が減少し、財源確保が厳しい状況が続いており、今後の事業の遅延が懸念される。

< 指標の達成状況 >	総合評価		B		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	幹線道路の整備割合				
指標の設定理由	周辺道路の交通渋滞の解消及び歩行者の安全確保				
目標値	75.5	76.0	76.5	77.1	77.6
実績値	75.0	75.3	75.5	76.0	
達成度	99.3%	99.1%	98.7%	98.6%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	258,916	139,237	171,946	177,440	311,500					
国・県	142,412	76,531	85,967	88,710	155,750					
利用者負担金										
その他										
一般財源	116,504	62,706	85,979	88,730	155,750					
人件費(千円)	5,768	人工	5,313	人工	7,112	人工	5,618	人工		人工
正規	5,768	0.75	5,313	0.7	6,998	0.91	5,320	0.7		
嘱託	0		0		114	0.04	298	0.1		
合計コスト +	264,684	144,550	179,058	183,058	311,500					
前年度比	-	54.6%	123.9%	102.2%	-					

事務事業評価票

事務事業名	道路改良事業(防災安全)
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	道路改良事業費(防災安全)

< 事業の狙い >

事業計画年度

H21 ~ R2

歩道の新設を含めた道路整備により、市民の利便性と安全の確保、及び交通の円滑化を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

国の交付金を活用した主要道路の歩行者の完全性確保のため、新たな歩道設置を含め2車線の道路整備

- 市道波田98号線(波田 森口)
事業年度 H20 ~ R4
事業量
ア 総延長 L=2,037m W=9.5m
イ H30までの施工延長 L=1,640m
ウ R元事業内容 工事 L= 109m、用地補償、補償算定
- 市道2181号線(浅間温泉2丁目)
事業年度 H28 ~ R4
事業量
ア 総延長 L=320m W=9.5m
イ H30事業内容 用地補償、補償算定
ウ R元事業内容 工事(R2へ繰越)L= 150m、用地補償、補償算定
- 市道5520号線(渚2丁目)
事業年度 H24 ~ R7
事業量
ア 総延長 L=160m W=9.5m

< 現状に対する認識 >

市民から早期整備が望まれているが、近年、交付金の配分が減少し、財源確保が厳しい状況が続いており、今後の事業の遅延が懸念される。

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	幹線道路の整備割合				
指標の設定理由	周辺道路の交通渋滞の解消及び歩行者の安全確保				
目標値	75.5	76.0	76.5	77.1	77.6
実績値	75.0	75.3	75.5	76.0	
達成度	99.3%	99.1%	98.7%	98.6%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	68,378	61,018	86,777	332,800	204,310					
国・県	37,600	33,544	47,697	183,000	112,370					
利用者負担金										
その他	30,700	18,600	31,300	105,700	35,200					
一般財源	78	8,874	7,780	44,100	56,740					
人件費(千円)	13,073	人工 7,590	人工 8,804	人工 7,898	人工					
正規	13,073	1.7	7,590	1	8,690	1.13	7,600	1.0		
嘱託	0	0	0	114	0.04	298	0.1			
合計コスト +	81,451	68,608	95,581	340,698	204,310					
前年度比	-	84.2%	139.3%	356.5%	-					

事務事業評価票

事務事業名	道路改良事業費(過疎対策)
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	道路改良事業費(過疎対策)

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28 ~ R7

過疎対策地域の四賀地区から整備要望のある市道を拡幅改良し、緊急車両が通行可能な安全・安心な生活環境を確保する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

四賀地区(過疎対策地域)の道路整備

- 1 市道下原線(板場)
事業年度 H28~R3
事業量
ア 総延長L=210m W=4.0m
イ R元事業内容 工事測量
- 2 市道下小瀬農協線(赤怒田)
事業年度 H30~R3
事業量
ア 総延長 L=400m W=4.0m
イ H30事業内容 工事測量、土質調査
ウ R元事業内容 用地測量、補償算定、補償
- 3 市道向原線(反町)
事業年度 H30~R3
事業量
ア 総延長 L=270m W=4.0m
イ H30事業内容 工事測量、土質調査
ウ R元事業内容 用地測量
- 4 市道長越1・2号線(長越)
事業年度 R2~R7
事業量 L=230m W=4.0m

< 現状に対する認識 >

地元調整及び関係機関との協議が重要である。
特に沿線住民の全員の同意をもとに事業を進めるもの。

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	緊急車両がスムーズに通行出来る様に整備(事業費ベースでの進捗率)				
指標の設定理由	早期の効果発現のため事業進捗率を目標とする。				
目標値	1.4%	8.4%	14.7%	24.1%	59.9%
実績値	1.2%	8.2%	14.5%	23.9%	
達成度	85.8%	97.6%	98.6%	99.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	3,045		17,301		15,458		23,085		88,460	
国・県										
利用者負担金										
その他	3,000		17,300		15,400		22,900		88,400	
一般財源	45		1		58		185		60	
人件費(千円)	1,538	人工	3,795	人工	1,846	人工	2,426	人工		人工
正規	1,538	0.2	3,795	0.5	1,846	0.24	2,128	0.28		
嘱託	0		0		0		298	0.1		
合計コスト +	4,583		21,096		17,304		25,511		88,460	
前年度比	-		460.3%		82.0%		147.4%		-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	単独新設改良事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独新設改良事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

S62 ~ R5

狭隘な生活道路を拡幅改良することにより、沿道の生活環境の向上と緊急車両の通行等、市民の安全を確保する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

地元要望のある生活道路を主に、道路整備(53路線)

1 実施内容

H30実施

工事、用地補償、委託等 23路線 C=237,658千円
整備延長 8路線 L=968m

R元実施

工事、用地補償、委託等 20路線 C=275,080千円
整備延長 9路線 L=1,041m

2 全体計画(実施計画第50号)

他事業関連 6路線 (4路線)

国道19号関連 2路線

空港関連 4路線

生活道路一般 35路線 (13路線)

交付金事業単独分 7路線 (3路線)

地元調整及び関係機関との協議が重要である。

特に沿線住民の全員の同意をもとに事業を進めるもの。

対象路線数が多いことから、危険箇所・事業効果を検証し、優先度の高い路線から計画的に整備する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	整備された生活道路の割合				
指標の設定理由	市民生活に密着した生活道路の整備進捗(整備割合)を指標とする。				
目標値	37.7%	40%	48%	56%	63%
実績値	37.7%	40%	48%	56%	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	175,252	160,346	237,658	275,080	19,160
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	175,252	160,346	237,658	275,080	19,160
人件費(千円)	48,434	52,713	51,202	48,020	
正規	47,294	48,956	50,062	47,424	
嘱託	1,140	3,757	1,140	596	
合計コスト +	223,686	213,059	288,860	323,100	19,160
前年度比	-	95.2%	135.6%	111.9%	-

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	橋りょう整備事業(社会資本)
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまちなち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	橋りょう整備事業(社会資本)

<事業の狙い> 事業計画年度 H20 ~

市道7003号線の改良 月見橋の架け替え 奈良井川右岸の市道5005号線の拡幅 により、中環状線としての機能を確保する。
月見橋を架け替えることにより、右折レーンの確保による交通の円滑化と、両側に歩道を設置することによる歩行者の安全確保が図られる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

国の交付金を活用し、月見橋の架替えを行う。

1 市道7553号線 月見橋
 事業年度 平成26年度から令和9年度まで
 概要 橋りょう架替工 L=157.7m, W=15.0m
 総事業費 C=2,142,530千円
 実績(H31) 用地測量、補償算定

<現状に対する認識>

近年、国からの交付金の配分が少なく、財源の確保が厳しい状況となっており、今後の事業の遅延が懸念される。

<指標の達成状況>		総合評価		B	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(橋梁長寿命化修繕完了橋梁数)				
指標の設定理由	将来に向けた橋りょう整備の軸となる橋梁修繕完了橋梁数を指標とする				
目標値	14	23	35	37	41
実績値	14	21	26	29	
達成度	100.0%	91.3%	74.3%	78.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	0	0	61,568	12,492	0
国・県				12,492	
利用者負担金					
その他					
一般財源			61,568		
人件費(千円)	1,538	1,518	1,538	1,520	
正規	1,538	1,518	1,538	1,520	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	1,538	1,518	63,106	14,012	0
前年度比	-	98.7%	4157.2%	22.2%	-

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	橋りょう長寿命化事業(防災安全)
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなくまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	橋りょう長寿命化事業(防災安全)

<事業の狙い>

事業計画年度

H20 ~

橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に修繕・架替えを行い、耐用年数の延伸を図ることにより、将来的な財政負担の低減、橋梁修繕費の平準化及び道路交通の安全性の確保を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

国の交付金を活用し、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化した危険な橋りょうの修繕及び架替えを行う

- 橋梁長寿命化事業……(補修工事8橋 補修設計9橋 C=212,740千円)
事業年度 H20 ~
事業量 480橋
総事業費 C=2,678,420千円
- 橋梁架替事業
事業年度 R2 ~
事業量 3橋
総事業費 C=192,900千円

<現状に対する認識>

近年、国からの交付金の配分が少なく、財源の確保が厳しい状況となっており、今後の事業の遅延が懸念される。
橋梁長寿命化修繕計画に基づき、長期的なコスト、事業費の平準化など、より効率的な事業を実施する。
また、利用頻度が低く危険な橋は、廃橋についても検討し、事業を進めていく。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(橋梁長寿命化修繕完了橋梁数)				
指標の設定理由	将来に向けた橋りょう整備の軸となる橋梁修繕完了橋梁数を指標とする				
目標値	14	23	35	37	41
実績値	14	21	26	29	
達成度	100.0%	91.3%	74.3%	78.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	144,007		289,916		204,347		212,740		211,900	
国・県	79,010		159,255		111,485		117,000		116,500	
利用者負担金										
その他										
一般財源	64,997		130,661		92,862		95,740		95,400	
人件費(千円)	22,473	人工	22,391	人工	20,060	人工	21,496	人工		人工
正規	20,763	2.7	22,391	2.95	19,148	2.49	20,900	2.75		
嘱託	1,710	0.6	0		912	0.32	596	0.2		
合計コスト +	166,480		312,307		224,407		234,236		211,900	
前年度比	-		187.6%		71.9%		104.4%		-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	橋りょう整備事業(辺地対策)
-------	----------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまちなち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	橋りょう整備事業(辺地対策)

< 事業の狙い >

事業計画年度

H31 ~

橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に修繕・架替えを行い、耐用年数の延伸を図ることにより、将来的な財政負担の低減、橋梁修繕費の平準化及び道路交通の安全性の確保を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

安曇地区(過疎対策地域)の老朽化した危険な橋りょうについて、辺地債を活用し、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、架替えを行う。

- 1 市道沢渡2号線 湯川1号橋
- 事業年度 平成31年度から令和6年度まで
- 概要 橋りょう架替工 1式
- 総事業費 C=257,220千円
- 実績(H31) 詳細設計 L=49.1m W=5.5m

< 現状に対する認識 >

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、長期的なコスト、事業費の平準化など、より効率的な事業を実施する。
また、利用頻度が低く危険な橋は、廃橋についても検討し、事業を進めていく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(橋梁長寿命化修繕完了橋梁数)				
指標の設定理由	将来に向けた橋りょう整備の軸となる橋梁修繕完了橋梁数を指標とする				
目標値	14	23	35	37	41
実績値	14	21	26	29	
達成度	100.0%	91.3%	74.3%	78.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	0	0	0	13,900	36,200	
国・県						
利用者負担金						
その他					36,200	
一般財源				13,900		
人件費(千円)	0	人工	0	人工	1,520	人工
正規	0	0	0	0	1,520	0.2
嘱託	0	0	0	0	0	
合計コスト +	0	0	0	15,420	36,200	
前年度比	-	-	-	-	-	

事務事業評価票

事務事業名	単独橋りょう整備事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独橋りょう整備事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

H20 ~ R8

国庫補助事業である橋りょうの架け替え・補修工事に合わせ実施するもので、主体工事を補完する補助対象とならない工事

また、単独道路新設改良工事に合わせ狭隘な橋を拡幅するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 国庫補助事業である老朽化した橋りょうの架け替え・補修工事を補完する単独事業

市道7553号線 月見橋(笹部～島立)

事業年度 H26～R7

事業量 L=160m W=12.0m

単独費 総事業費 C=2,143,269千円の内、詳細設計費

H30事業 詳細設計、土質調査

橋梁長寿命化事業

事業年度 H20～

事業量 480橋

単独費 総事業費 C=2,678,420千円の内事業調整分

R元事業費 3,000千円(事業調整分)

橋梁架替事業

事業年度 R2～

事業量 3橋

単独費 総事業費 C=192,900千円の内予備設計費

2 地元要望のある生活道路の橋梁整備

市道8114号線 巾下橋 島内

事業年度 R3～R8

事業量 L=11m W=4.0m

総事業費 C=135,930千円

< 現状に対する認識 >

近年、国からの交付金の配分が少なく、財源の確保が厳しい状況となっており、今後の事業の遅延が懸念される。

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、長期的なコスト、事業費の平準化など、より効率的な事業を実施する。また、利用頻度が低く危険な橋は、廃橋についても検討し、事業を進めていく。

生活道路の橋梁整備では、地元調整及び関係機関との協議が重要である。

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまちなち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(橋梁長寿命化修繕完了橋梁数)				
指標の設定理由	将来に向けた橋りょう整備の軸となる橋梁修繕完了橋梁数を指標とする				
目標値	14	23	35	37	41
実績値	14	21	26	29	
達成度	100.0%	91.3%	74.3%	78.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	10,483	3,748	61,568	3,000	3,000					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	10,483	3,748	61,568	3,000	3,000					
人件費(千円)	0	人工	0	人工	6,921	人工	76	人工		人工
正規	0		0		6,921	0.9	76	0.01		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	10,483	3,748	68,489	3,076	3,000					
前年度比	-	35.8%	1827.3%	4.5%	-					

事務事業評価票

事務事業名	単独河川改良事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独河川改良事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17 ~

市管理河川の整備を進め、効果的な治水・排水により市民の安全・安心を確保するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

都市化による雨水流出量の増加に対する、通水断面確保及び老朽化した河川護岸の2次改良整備

1 令和元年度主要工事実績

山田川……………(工事 L=53.5m C=12,683千円)

事業期間 H27 ~ R元

事業延長 L=255m

総事業費 41,610千円

西大門沢川…(工事 L=14.2m C=13,398千円)

事業期間 H28 ~ R3

事業延長 L=41m

総事業費 38,780千円

大六川……………(工事 L=45.6m C=12,320千円)

事業期間 H30 ~ R元

事業延長 L=46m

総事業費 13,850千円

2 令和元年度業務委託実績

河川現況調査(河川水路台帳修正)……………(25路線 C=2,420千円)

事業路線 n = 355路線

仮設排水ポンプ設置……………(6箇所 C=4,290千円)

< 現状に対する認識 >

近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が多く発生しています。

今後の治水対策は、対処対応ではなく予防対応が必要となっています。

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	河川状況及び地元要望により実施しているため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	53,171	40,552	18,352	50,704	30,000					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	53,171	40,552	18,352	50,704	30,000					
人件費(千円)	6,921	人工	6,831	人工	6,040	人工	6,840	人工		人工
正規	6,921	0.9	6,831	0.9	6,040	0.8	6,840	0.9		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	60,092	47,383	24,392	57,544	30,000					
前年度比	-	78.9%	51.5%	235.9%	-					

事務事業評価票

事務事業名	単独水路改修事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独水路改修事業費

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

H6 ~

市管理水路の整備を進め、効果的な治水・排水により市民の安全・安心を確保するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

都市化による雨水流出量の増加に対する、通水断面確保及び老朽化した既存水路の2次改良整備

1 令和元年度主要工事実績

- 横田溝渠……………(工事 L=12.0m C=583千円)
 - 事業期間 H15 ~ R7
 - 事業延長 L=699m
 - 総事業費 24,311千円
- 横田運動公園水路…(工事 L=80.2m C=14,017千円)
 - 用地・補償 1式 C=8,528千円)
 - 事業期間 H28 ~ R8
 - 事業延長 L=725m
 - 総事業費 111,920千円
- 荒町南水路……………(工事 L=60.0m C=1,111千円)
 - 事業期間 H28 ~ R元
 - 事業延長 L=166m
 - 総事業費 5,339千円
- 四ツ谷東水路……………(工事 L=62.0m C=4,708千円)
 - 事業期間 H29 ~ R元
 - 事業延長 L=123m
 - 総事業費 7,337千円

< 現状に対する認識 >

近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が多く発生しています。
今後の治水対策は、対処対応ではなく予防対応が必要となっています。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	水路状況及び地元要望により実施しているため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	47,325	33,900	34,995	35,114	25,040
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	47,325	33,900	34,995	35,114	25,040
人件費(千円)	7,690	7,590	8305	8360	
正規	7,690	7,590	8305	8360	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	55,015	41,490	43,300	43,474	25,040
前年度比	-	75.4%	104.4%	100.4%	-

事務事業評価票

事務事業名	単独雨水渠新設改良事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独雨水渠新設改良事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	H14 ~
都市化による雨水流出量の増加に対し、放流の分散化を図り、都市浸水被害を防止するため、雨水渠の整備を進め市民生活の安全・安心を確保するもの	

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

雨水渠及び雨水貯留施設の整備
1 令和元年度工事実績
田川第一雨水幹線・・・(補償 1式)
(県事業の南松本駅南側踏切立体交差事業延期により未実施)
事業期間 H23 ~ R4
事業延長 L=417m
総事業費 185,741千円
都市計画道路 出川双葉線関連

< 現状に対する認識 >

近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が発生しています。
--

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取組み	震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

		総合評価		B	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	雨水渠整備率(整備面積/計画面積)				
指標の設定理由	都市浸水被害を防止するための施設整備状況を表すのに適当であるため				
目標値	19.3%	19.7%	19.7%	19.7%	22.5%
実績値	19.3%	19.3%	19.3%	19.7%	
達成度	100.0%	98.0%	98.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	7,089	0	11,733	0	30,500
国・県					
利用者負担金					
その他					23,500
一般財源	7,089	0	11,733	0	7,000
人件費(千円)	769	人工	0	人工	1510
正規	769	0.1	0	0	1510
嘱託	0		0		0.2
					0
					0
合計コスト +	7,858	0	13,243	0	30,500
前年度比	-	-	-	-	-

事務事業評価票

事務事業名	雨水渠改良事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	雨水渠改良事業費

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくま	市長公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち	主な取組み	震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化	
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	H25 ~
--------	-------

都市化による雨水流出量の増加に対し、放流の分散化を図り、都市浸水被害を防止するため、雨水渠の整備を進め市民生活の安全・安心を確保するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

雨水渠及び雨水貯留施設の整備

1 令和元年度工事実績

県第一雨水幹線……(工事 L=128.0m C=39,622千円、補償 1式 C=2,093千円)
 事業期間 H25 ~ R4 事業延長 L=1,500m
 総事業費 1,041,495千円
 長沢川・地蔵川による中心市街地における溢水対策

田川第一雨水幹線……(工事 L=70.2m C=45,991千円、用地他 1式 C=1,131千円)
 事業期間 H25 ~ R9 事業延長 L=1,060m
 総事業費 538,557千円
 国道19号松本拡幅関連

筑摩雨水幹線……(貯留施設 V=1,500m³ C=101,253千円)
 (ポンプ機械・電気設備1式 C=25,080千円)
 事業期間 H28 ~ R9 事業延長 L=1,340m
 総事業費 524,215千円
 庄内・筑摩地区における溢水対策

和泉川排水区ポンプゲート……(ポンプ機械・電気設備1式 C=48,860千円)
 事業期間 H27 ~ R9 事業延長 L=830m
 総事業費 490,335千円
 並柳地区における溢水対策

丸の内排水区雨水管……(補償 1式 C=16,012千円)
 事業期間 H27 ~ R9 事業延長 L=850m
 総事業費 523,563千円
 合流区域内における溢水対策

< 現状に対する認識 >

近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が発生しています。
 国庫補助事業として実施していますが、今後の財源確保が課題となると思われます。

< 指標の達成状況 >

総合評価	B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	雨水渠整備率(整備面積/計画面積)				
指標の設定理由	都市浸水被害を防止するための施設整備状況を表すのに適当であるため				
目標値	19.3%	19.7%	19.7%	19.7%	22.5%
実績値	19.3%	19.3%	19.3%	19.7%	
達成度	100.0%	98.0%	98.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	423,135	162,258	304,542	280,044	444,780					
国・県	211,549	81,106	152,248	139,750	222,285					
利用者負担金										
その他	195,100	81,100	152,100	139,500	222,000					
一般財源	16,486	52	194	794	495					
人件費(千円)	24,608	人工	24,288	人工	23,405	人工	22,800	人工		人工
正規	24,608	3.2	24,288	3.2	23,405	3.1	22,800	3		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	447,743		186,546		327,947		302,844		444,780	
前年度比	-		41.7%		175.8%		92.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	街路事業(防災安全)
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	街路事業費(防災安全)

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	次世代交通政策の可視化・具現化
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	成熟型社会の都市基盤づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度	H22 ~ R13
--------	-----------

交通の円滑化と通過交通の分散、歩道の整備等による安全、安心な道路環境を確保するため、道路整備5箇年計画に基づき、幹線道路整備を推進する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

都市計画道路の整備

1 継続事業

小池平田線 庄内 ……(工事等 C=84,060千円)

事業年度 H25 ~ R01

事業量 L=253m W=18m

総事業費 760,740千円

南松本駅石芝線 西工区 ……(用地補償・工事等 C=149,842千円)

事業年度 H25 ~ R02

事業量 L=180m W=12m

総事業費 573,590千円

出川浅間線 里山辺 ……(設計・用測・補償算定等 C=64,724千円)

事業年度 H30 ~ R13

事業量 L=1,030m W=12m

総事業費 3,600,000千円

2 新規事業

宮渚新橋上金井線<城西>…(地元調整

小池平田線 逢初 ……(地元調整)

街路事業費については、平成30年度より、街路事業(防災安全)と街路事業(都市再生)に分かれたものであり、平成29年度までのデータは、「街路事業(防災安全)」のもの。

< 現状に対する認識 >

事業化までに期間を要し、着手後も事業費の確保、用地交渉の難航等、早期完了が厳しい状況である。

< 指標の達成状況 >

総合評価	B
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	幹線道路の整備割合(第10次基本計画)				
指標の設定理由	幹線道路の中でも骨格となる都市計画道路の整備により、交通の円滑化と通過交通の分散を図る。				
目標値	75.5	76.0	76.5	77.1	77.6
実績値	75.0	75.3	75.5	76.0	
達成度	99.3%	99.1%	98.7%	98.6%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	255,679	309,983	281,404	298,626	214,000	
国・県	140,599	170,483	154,717	163,744	117,650	
利用者負担金						
その他	93,100	123,500		91,300	86,600	
一般財源	21,980	16,000	126,687	43,582	9,750	
人件費(千円)	48,832	人工	25,958	人工	17,743	人工
正規	48,832	6.35	25,958	3.42	17,743	2.35
嘱託	0		0		0	
合計コスト +	304,511	335,941	299,147	317,626	214,000	
前年度比	-	110.3%	89.0%	106.2%	-	

事務事業評価票

事務事業名	街路事業費(都市再生)
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	街路事業費(都市再生)

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い > 事業計画年度 H24 ~ R9

交通の円滑化と通過交通の分散を図り、安全、安心な道路環境を確保するため、道路整備5箇年計画に基づき、幹線道路整備を推進する。
 ・松本城を中心としたまちづくり都市再生整備計画事業
 まちづくりと次世代交通政策を連携し、歩いて暮らせる集約型都市構造を実現する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

幹線道路(松本駅周辺地区)の整備

1 継続事業

中条白板線 巾上 ……(用地補償等 C= 197,614千円)
 事業年度 H24 ~ R3
 事業量 L=265m W=18m
 総事業費 1,432,000千円

中条白板線 白板 ……(用地補償等 C= 73,891千円)
 事業年度 H28 ~ R5
 事業量 L=120m W=18m
 総事業費 1,333,000千円

市道1223号線 城西 ……(設計・用測・用地補償 C= 59,164千円)
 事業年度 H30 ~ R4
 事業量 L=180m W=15m
 総事業費 440,000千円

2 新規事業

中条白板線<中条西> ……(地元調整)

街路事業費については、平成30年度より、街路事業(防災安全)と街路事業(都市再生)に分かれたものであり、平成29年度までのデータは、「街路事業(防災安全)」のもの。

< 現状に対する認識 >

事業化までに期間を要し、着手後も事業費の確保、用地交渉の難航等、早期完了が厳しい状況である。

< 指標の達成状況 > 総合評価 B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	幹線道路の整備割合(第10次基本計画)				
指標の設定理由	幹線道路の中でも骨格となる都市計画道路の整備により、交通の円滑化と通過交通の分散を図る。				
目標値	75.5	76.0	76.6	77.1	77.6
実績値	75.0	75.3	75.5	76.0	
達成度	99.3%	99.1%	98.6%	98.6%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	255,679	309,983	336,855	330,669	335,500	
国・県	140,599	170,483	284,838	209,445	134,200	
利用者負担金						
その他	93,100	123,500		92,400	181,100	
一般財源	21,980	16,000	52,017	28,824	20,200	
人件費(千円)	48,832	人工	25,958	人工	16,988	人工
正規	48,832	6.35	25,958	3.42	16,988	2.25
嘱託	0		0		0	
合計コスト +	304,511	335,941	353,843	349,669	335,500	
前年度比	-	110.3%	105.3%	98.8%	-	

事務事業評価票

事務事業名	単独街路事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独街路事業

< 事業の狙い >

事業計画年度 H22 ~ R13

交通の円滑化と通過交通の分散を図り、安全、安心な道路環境を確保するため、道路整備5箇年計画に基づき、幹線道路整備を推進する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

街路事業(都市再生)、同(防災安全)及び県事業を補完するもの

- 1 継続事業
 - (1) 小池平田線 庄内 ……(委託料、用地保全等 C=7,567千円)
 - (2) 中条白板線 巾上 ……(委託料、用地保全等 C=4,086千円)
 - (3) 南松本駅石芝線 西工区 …(用地補償、委託料等 C=10,716千円)
 - (4) 中条白板線 白板 ……(委託料、用地保全等 C=3,855千円)
 - (5) 出川浅間線(里山辺) ……(手数料 C= 394千円)
 - (6) 市道1223号線(城西) ……(手数料等 C= 196千円)
 - (7) 松本駅北小松線(県) ……(用地取得 C=2,555千円)
- 2 新規事業
 - 宮淵新橋上金井線(城西) ……(地元調整)
 - 小池平田線(逢初) ……(地元調整)
 - 中条白板線(中条西) ……(地元調整)

< 現状に対する認識 >

単独街路事業は、街路事業(都市再生)及び同(防災安全)を補完する一体的なものであるため、事業の狙い、内容、成果指標等、両事業は共通である。

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	
主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価 B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	幹線道路の整備割合(第10次基本計画)				
指標の設定理由	幹線道路の中でも骨格となる都市計画道路の整備により、交通の円滑化と通過交通の分散を図る。				
目標値	75.5	76	76.6	77.1	77.6
実績値	75.0	75.3	75.5	76.0	
達成度	99.3%	99.1%	98.6%	98.6%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	10,616	26,020	58,680	29,370	47,440
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	10,616	26,020	58,680	29,370	
人件費(千円)	1,154	9,488	7,550	7,600	
正規	1,154	0.15	9,488	1.25	7,550
嘱託	0	0	0	0	1
合計コスト +	11,770	35,508	66,230	36,970	47,440
前年度比	-	301.7%	186.5%	55.8%	-

維持課

課長 百瀬 信

事務事業評価票

事務事業名	地籍調査事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地籍調査事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～ R5

国土調査法に基づく事業であり、明治時代の古い公図を改め、最新の測量技術で作成した公図(不動産登記法に基づく地図)を法務局に設置することで、現地と公図の相違をなくし、土地境界を巡るトラブルの防止や土地利用の円滑化等を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

本事業は、四賀地区で実施しており、地区内の各地籍を明確にするため、該当地の実態調査(所有者の経緯調査等)から、現地測量による境界立会を行い、確定した境界に基づく新たな公図を作成し、法務局に登録を行っている。

令和2年度事業費

地籍測量費等 2,140千円 (一般財源)

< 現状に対する認識 >

四賀地区の地籍調査事業は、令和元年度で終了するが、東日本大震災の地盤変動に伴う基準点位置の変動等による修正業務が数年間必要となっている。

また、市内には、地籍調査の未実施地が存在するが、新たな境界確定による資産面積の変化等、利害整理等に大きな課題があるため、現在は新たな調査を実施する計画はない。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	0820000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	地籍調査済面積(km ²)				
指標の設定理由	地籍の明確化により、土地トラブルの解消と災害時の復旧事業が円滑に進む				
目標値	8.47	8.67	8.80	8.83	8.85
実績値	8.47	8.66	8.79	8.83	8.85
達成度	100.0%	99.9%	99.9%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	7,000	7,600	6,094	2,180	2,140
国・県	4,875	4,492	4,125	750	0
利用者負担金					
その他					
一般財源	2,125	3,108	1,969	1,430	2,140
人件費(千円)	18,384	人工 13,522	人工 13,601	人工 13,712	人工
正規	15,534	2.02 7,742	1.02 7,701	1.02 7,752	1.02
嘱託	2,850	1 5,780	2 5,900	2 5,960	2
合計コスト +	25,384	21,122	19,695	15,892	10,690
前年度比	-	83.2%	93.2%	80.7%	-

事務事業評価票

事務事業名	市道管理
-------	------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	市道管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

関係法令(道路法、河川法等)に基づき、市民生活の基礎的インフラとして重要な施設の適切な管理を行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 市道認定事務(R1実績29件)
道路法及び市道認定要綱に基づき、適正な市道認定を行う
- 市道管理事務
道路法に基づき、市道付帯設備の管理業務を行う
- 市道占用等許可業務及び料金徴収(R1許可件数4,664件 占用料107,550千円)
道路法、河川法及び市条例に基づき、市道占用の許可を行う
- 許認可事務(道路法・河川法)
道路法、河川法及び市条例に基づき許認可事務を行う
- 境界確認事務(R1実績795件)
官民界との境界確認を行う
- 特殊車両通行許可協議(R1実績722件)
法に基づき、特殊車両通行許可協議を行う
- 事故対応業務(R1賠償件数14件、自損事故対応件数227件)
道路の構造物が原因で発生した市道上の事故への賠償及び自損事故で破損した道路施設の事故処理に対応する。
- 河川防災ステーション管理業務
洪水時等の非常時における水防活動を円滑に行うとともに非常時における防災意識の向上及び地域活動の活性化を図る。

< 現状に対する認識 >

・関係法令に基づき適正な管理を行う必要がある。
・道路用地登記等未処理事業については、所有権者の死亡等の場合、相続処理がされていない土地の境界確認や登記が困難な状況となっている。
・道路管理に瑕疵が生じないよう市道パトロールを強化する。また、道路情報通報アプリ等による危険個所の情報収集を行い、迅速な補修対応を行う。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	0820000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	道路の状況により実施する、また、申請により実施するものであり目標設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	47,679	43,086	48,187	53,920	56,770
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	47,679	43,086	48,187	53,920	56,770
人件費(千円)	88,612	87,845	87,759	88,392	
人工	9.67	9.67	9.67	9.67	
正規	74,362	73,395	73,009	73,492	
嘱託	14,250	14,450	14,750	14,900	
合計コスト +	136,291	130,931	135,946	142,312	145,382
前年度比	-	96.1%	103.8%	104.7%	-

事務事業評価票

事務事業名	道路情報管理
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	道路情報管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

道路法の規定に基づき本市が管理する市道について、道路情報を効率的に管理するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本市道路台帳補正業務
 年度ごとに市道の新設、改良、舗装等に伴い認定、変更、廃止された市道について道路台帳を補正して、図面、各種調書の更新を実施し、道路延長及び面積等の数値を掌握する。
 (R1実績 市道認定29件、変更1件、廃止0件)
 路線実延長 2,321,373m 2,324,414m
 道路敷面積 11,971,737㎡ 12,003,946㎡

< 現状に対する認識 >

調書等は、地方交付税の算定基礎通知として用いるほか、国土交通省等への報告など各種調査利用している。また、建築確認等に伴う市民の閲覧も多く利用価値は極めて高い。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	0820000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	道路の状況により実施するものであり、目標値設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	23,673		26,589		27,831		26,960		23,090	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	23,673		26,589		27,831		26,960		23,090	
人件費(千円)	5,383	人工	5,313	人工	5,285	人工	5,320	人工		人工
正規	5,383	0.7	5,313	0.7	5,285	0.7	5320	0.7		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	29,056		31,902		33,116		32,280		28,473	
前年度比	-		109.8%		103.8%		97.5%		-	

事務事業評価票

事務事業名	私道舗装補助金
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

生活環境の向上を図るため、地域から整備要望のある私道等について、舗装工事費に相当する金額を補助金として交付するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 事業内容
利用のある私道・認定外道路等で、要綱に適合するものについて舗装工事費に相当する一定の金額を補助金として交付
- 補助対象
幅員1.8m以上の通り抜け道路 (工事費の100分の100)
幅員1.8m以上、かつ、延長35m以上の袋路(工事費の100分の50)
舗装工事に伴い必要となる簡易な排水構造物の設置
- 実績
550件 延長42,099m 事業費385,367千円

・平成30年度 6件
四賀穴沢、島立堀米、神林南荒井、岡田松岡、島立荒井、島内青島
延長L=311m 面積A=791㎡ 事業費5,186千円
・令和元年度 3件
里山辺西小松 延長L=15.5m 面積A= 61.64㎡ 事業費1,158千円
島内青島 延長L=32.6m 面積A=107.50㎡ 事業費1,123千円
岡の宮西 延長L=45.6m 面積A=150.00㎡ 事業費 719千円
合計 延長L=93.7m 面積A=319.14㎡ 事業費3,000千円

< 現状に対する認識 >

平成29年4月1日付で補助制度(補助対象)を一部見直し、市民サービスの向上を図った。引き続き、補助制度の周知及び補助金活用の推進に努める。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	地権者の合意により実施するもので、目標値の設定不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	2,829		2,991		5,186		3,000		3,000	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,829		2,991		5,186		3,000		3,000	
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工	2,307	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3	2,307	0.3		
嘱託	0	0	0		0		0			
合計コスト +	5,136		5,268		7,451		5,307		5,307	
前年度比	-		102.6%		141.4%		71.2%		-	

事務事業評価票

事務事業名	駅前広場管理
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	駅前広場管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

駅前広場・自由通路を利用する市民及び旅客の安全かつ円滑な通行を確保したうえで、施設を効率的に運営しつつサービスの向上を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 対象施設	松本駅、北松本駅、平田駅の駅前広場及び自由通路
2 事業内容	指定管理者制度による施設管理 使用料金の徴収 ・駅前広場使用料 ・自家用車整理場使用料(松本駅お城口・アルプス口広場) ・駅前広場タクシー駐車場使用料(松本駅お城口・アルプス口、北松本駅お城口・アルプス口) 昇降機の維持管理 ・松本駅エレベーター、エスカレーター ・北松本駅エレベーター ・平田駅エレベーター

< 現状に対する認識 >

不特定多数の利用者があり、経年経過による施設の損傷も進んでいる中、施設の適正な使用及び利用者の安全確保に努める。
 近年、松本駅自由通路では、選挙の期日前投票所を始め、様々な利活用がされており、今後も行政、市民及び多様な団体における幅広い利用が考えられることから、危機管理対策の強化も含めた施設整備を図る。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	334	公共交通ネットワークの充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	施設の管理事業であるため、指標の設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	59,381		66,650		61,580		60,359		55,820	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	59,381		66,650		61,580		60,359		55,820	
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工	1,538	人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	1,538	0.2		
嘱託	0	0	0		0		0			
合計コスト +	60,919		68,168		63,090		61,897		55,820	
前年度比	-		111.9%		92.6%		98.1%		-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	0820000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	単独道路橋りょう維持補修事業
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独道路橋りょう維持補修事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

28～

平時には市道を常時良好な状態に保ち、災害時や降雪・豪雨等の異常気象時には幹線道路の安定的な交通を可能な限り確保するため、主に応急処置的に機能管理する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 道路施設等管理業務
市道の安全な通行を常時確保するため、道路施設を機能管理する。
- 道路除融雪業務
冬期間の安全な通行を確保するため、幹線道路を主に機能管理する。
- 老朽化や破損等の道路施設維持補修
市道の安全な通行を常時確保するため、応急処置的に補修する。

<現状に対する認識>

市道の安全な通行を常時確保することは、市民生活に直結する重要で断続的な業務である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	道路の状況により実施するため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	1,048,992		955,988		834,205		892,040		516,510	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,048,992		955,988		834,205		892,040		516,510	
人件費(千円)	184,447	人工	182,087	人工	184,447	人工	182,370	人工		人工
正規	183,022	23.8	180,642	23.8	183,022	23.8	180,880	23.8		
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5	1,425	0.5	1,490	0.5		
合計コスト +	1,233,439		1,138,075		1,018,652		1,074,410		700,957	
前年度比	-		92.3%		89.5%		105.5%		-	

事務事業評価票

事務事業名	今井道の駅維持管理業務
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	今井道の駅管理委託

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

道の駅を利用する市民及び観光客等の利便性や安全性を確保し、施設を効率的に運営しつつサービスの向上を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 事業概要
県が設置した今井道の駅について、県との管理協定に基づき、市が実施する部分の施設管理を行う。
- 2 対象施設
駐車場、歩道、公衆便所、休憩施設
- 3 事業内容
委託による清掃・消耗品の補充等日常的な維持管理

< 現状に対する認識 >

施設の損傷等もあるが、利用者への憩いのスペースを提供するため、特に安全の確保に努める。
特に、トイレの器具などは老朽化による損傷も多く見受けられるので、管理協定に基づく県との協議を含めて今後の修繕方針を定める。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	施設の管理事業であるため、指標の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	2,853		2,853		2,853		2,879		2,910	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,853		2,853		2,853		2,879		2,910	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	769	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	769	0.1		
嘱託	0	0	0		0		0			
合計コスト +	3,622		3,612		3,608		3,648		2,910	
前年度比	-		99.7%		99.9%		101.1%		-	

事務事業評価票

事務事業名	道路橋りょう維持補修事業費 (防災安全)
-------	-------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	道路橋りょう維持補修事業費(防災安全)

< 事業の狙い >

事業計画年度

26~

道路法改正による道路構造物の5年に1回の定期点検義務化により、法定点検を実施し、道路構造物の健全性を把握して構造物の長寿命化を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 道路構造物定期点検

5年に1回の定期点検の義務化により、維持課担当分の重要道路構造物(橋長5m未満の橋梁、トンネル、大型ボックスカルバート、横断歩道橋)について点検を実施し、健全性を診断する。

平成30年度 L2~5mの橋梁点検 62カ所(一巡目 508橋全て完了)
令和元年度 L2~5mの橋梁点検 96カ所(二巡目)

2 舗装長寿命化事業

経年劣化が進む道路舗装について、5年に1回の定期点検(路面性状調査)を実施する。更に、土質調査及び交通量調査で舗装状態を正確に把握して修繕工事を実施し、効率的な維持管理を行う。
H26調査対象市道延長(幹線市道)L=335kmのうち、管理水準以下延長がL=112kmに上るため、修繕速度を4.5km/年以上とする。

平成29年度 L=0.6km
平成30年度 L=2.7km
令和元年度 L=1.9km

< 現状に対する認識 >

道路の老朽化による修繕費が増大する中、定期点検に基づく計画的補修で長寿命化を図る必要がある。しかし、国からの交付金が減少しており、事業費の確保が厳しい現状である。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	0820000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくま
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	構造物点検実施箇所数				
指標の設定理由	定期点検の義務対象施設総数(994箇所)に対する進捗率				
目標値	634	849	994	199	444
実績値	640	907	994	213	
達成度	100.9%	106.8%	100.0%	107.0%	-
成果指標(指標名)	道路舗装修繕率(%)				
指標の設定理由	H26調査による管理水準以下総延長(L=112km)に対する進捗率				
目標値	0	4.4	8.4	11.4	16.4
実績値	0	0.5	2.9		
達成度	-	11.4%	34.5%	-	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	76,010	138,439	189,530	200,770	164,000
国・県	41,800	76,139	49,529	31,387	24,500
利用者負担金					
その他			48,000	101,000	112,900
一般財源	34,210	62,300	92,001	68,383	26,600
人件費(千円)	10,911	10,877	22,250	22,412	
正規	6,921	6,831	18,120	18,240	
嘱託	3,990	4,046	4,130	4,172	
合計コスト +	86,921	149,316	211,780	223,182	186,446
前年度比	-	171.8%	141.8%	105.4%	-

事務事業評価票

事務事業名	リフレッシュロード事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	リフレッシュロード事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

28 ~ R2

流通及び生活に密着した幹線道路をより心地よく、より使いやすくするため、車道の舗装補修だけでなく、歩道・植栽・道路付属施設などを総合的に補修する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

幹線道路の総合的な補修
 車道：舗装補修、側溝補修、区画線設置、交通安全施設補修
 歩道：舗装補修、縁石補修
 植樹帯：街路樹剪定、街路樹補植

< 現状に対する認識 >

道路の修繕は車道優先に行われており、歩行者や自転車等への配慮が欠けている。道路を公共空間として捉え、利用するすべての人に優しい施設にすることが必要である。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	0820000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	道路整備率(%) (年一億ベースの事業費目標に対する整備進捗率)				
指標の設定理由	(年一億ベースの事業費目標に対する整備進捗率)				
目標値	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0
実績値	20	33.7	47	67	
達成度	100.0%	84.3%	78.3%	83.8%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	99,988	68,472	69,267	100,000	100,000
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	99,988	68,472	69,267	100,000	100,000
人件費(千円)	23,070	22,770	11,325	11,400	
人工	3	3	1.5	1.5	
正規	23,070	22,770	11,325	11,400	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	123,058	91,242	80,592	111,400	111,535
前年度比	-	74.1%	88.3%	138.2%	-

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	0820000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	負担金(兼用側溝・急傾斜地)
-------	----------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 事業の狙い >

事業計画年度

26~

市道の排水を兼ねた県道の道路排水施設について県主体で実施する整備事業、及び、急傾斜地崩壊危険箇所を県主体で実施する対策事業に対し工事費の一部を地元負担する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 県単独兼用側溝整備事業負担金 市道の排水を県管理の水路に接続し処理しているため、県主体で実施する兼用側溝整備工事の費用の一部を地元負担金として支出するもの。(工事費の50%、及び、事務費として工事費の11%) H27~ (一)土合松本線 H30~ (主)松本和田線
2 急傾斜地崩壊対策事業負担金 本市要望により、県主体で実施する急傾斜地崩壊指定箇所の対策工事の費用の一部を地元負担金として支出するもの。(事業費の5%) H26~ 八景山地区

< 現状に対する認識 >

道路排水処理、及び、急傾斜地崩壊指定箇所の対策工事が、費用の一部負担で推進できる。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	県主体の事業によるため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	5,376		7,502		6,361		9,970		10,500	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,376		7,502		6,361		9,970		10,500	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	6,145		8,261		7,116		10,730		11,269	
前年度比	-		134.4%		86.1%		150.8%		-	

事務事業評価票

事務事業名	単独河川維持補修事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独河川維持補修事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

28 ~

河川を常時良好な状態に保つため、機能管理する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

河川の機能を常時確保するため、応急処置的に実施する。

- 1 老朽化や破損等による河川施設の補修
- 2 浚渫による流下断面の確保
- 3 支障木撤去による流下断面の確保

< 現状に対する認識 >

河川の機能を常時確保することは、市民生活に直結する重要で不断な業務である。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	0820000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

公約	5つの重点目標
主な取り組み	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	河川の状況により実施するため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	7,176		7,274		6,980		7,210		7,430	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,176		7,274		6,980		7,210		7,430	
人件費(千円)	1,054	人工	1,048	人工	1,050	人工	1,058	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	285	0.1	289	0.1	295	0.1	298	0.1		
合計コスト +	8,230		8,322		8,030		8,268		8,484	
前年度比	-		101.1%		96.5%		103.0%		-	

事務事業評価票

事務事業名	道路橋りょう維持補修事業費 (社会資本)
-------	-------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	道路橋りょう維持補修事業費(社会資本)

< 事業の狙い >

事業計画年度

30~

除雪作業車両を計画的に更新していくことで、修理費、維持管理費の軽減、作業効率の向上を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 除雪機械整備事業
山間地で積雪地区に指定されている、安曇・奈川・梓川地区の市道除雪は、地元土木業者と町会に市所有の除雪機械を貸与して行っている。現在使用中の機械は老朽化が進み、維持管理費の増加や作業効率や安全性の低下が著しく、除雪作業に支障が生じているため、計画的に除雪機械の更新を進める。
対象車両26台のうち、R元までに2台更新

< 現状に対する認識 >

現在使用中の機械は老朽化が進み、維持管理費の増加や作業効率や安全性の低下が著しく、除雪作業に支障が生じている。計画的に除雪機械の更新を進め、除雪機械の更新サイクルの定着化を図る必要がある。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	0820000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	除雪機械の更新サイクルの定着化を図るもので、目標値の設定は不適当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	0	0	0	9,825	15,780
国・県				6,550	
利用者負担金					
その他					
一般財源				3,275	
人件費(千円)	0	人工	0	人工	0
正規	0	0	0	760	0.1
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	0	0	0	10,585	16,540
前年度比	-	-	-	-	-

公園緑地課

課長 百瀬 久芳

事務事業評価票

事務事業名	公園維持管理事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	公園維持管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28 ~

市民の健全な心身を育む場として公共の福祉の増進を図るとともに、災害時における避難所として防災対策の推進するため、適正な公園施設の維持管理を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 業務委託
 - 公園緑地の維持管理業務
シルバー人材センター他業務委託 (35公園)
 - ゴミ収集・処分業務
(157公園 155t)
 - 害虫防除駆除
(92公園 272本処理)
 - 除草業務
ア 草刈 (7カ所 延べ68,000㎡)
イ 芝除草 (12カ所 102,500㎡)
ウ 植樹帯除草 (14カ所 26,450㎡)
 - 松本市アルプス ドリームコースター、電気工作物、浄化槽、時計、消防設備等の保守点検
- 施設の点検・維持補修
日常・定期点検において、補修等が必要となった施設の営繕及び更新

< 現状に対する認識 >

・公園施設の老朽化が進んでいるため、計画的な更新、補修などの対策が必要となっている。
・倒木や支障枝、ムクドリ対策など、公園の状況に応じた、剪定や伐採などの樹木管理が必要となっている。

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	公園遊具施設事故件数				
指標の設定理由	遊具施設の事故件数から適正な施設管理状況を把握できるため				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	6	4	4	0	
達成度	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	190,228		192,015		195,257		197,879		197,750	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	190,228		192,015		195,257		197,879		197,750	
人件費(千円)	25,667	人工	25,549	人工	25,625	人工	25,824	人工		人工
正規	17,687	2.3	17,457	2.3	17,365	2.3	17,480	2.3		
嘱託	7,980	2.8	8,092	2.8	8,260	2.8	8,344	2.8		
合計コスト +	215,895		217,564		220,882		223,703		197,750	
前年度比	-		100.8%		101.5%		101.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	小鳥と小動物の森管理事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	小鳥と小動物の森管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28 ~

身近な動物たちとの触れ合いを楽しみ、市民の健全な心身を育む場を提供するため、適正な施設維持管理を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1	施設管理業務委託 施設の維持管理と動物の健康管理
2	施設の維持補修 老朽化した設備の改修工事 ・リス舎改修 1式 ・ふれあい広場柵改修 1式 ・インコ舎電気設備改修 1式 ・ブタ舎改修 1式
3	大規模改修事業 今後の予定 令和2年度 大規模改修協議資料作成、諸手続き 令和3年度~ 工事着手(~7年度まで) 予定 サル舎(R3,4)、タヌキ舎(R3,4)、イノシシ舎(R5)、 水鳥舎・小獣舎(R6)、猛禽舎、園路整備等(R7)

・経年による施設の老朽化が著しく、来園者からは、より観察しやすく動物の生育環境に即した施設への改修要望が寄せられている。
・飼育管理業務を行う面からも、より省力化を図った設備が求められている。
・大規模改修事業の実施設計により、老朽化した施設を計画的に改修する。

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	413	環境教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	動物園入園者数				
指標の設定理由	心身を育む動物たちと触れ合う状況を直接的に測定できるため				
目標値	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000
実績値	121,604	131,345	130,190	108,797	
達成度	67.6%	73.0%	72.3%	60.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	40,167		41,008		47,377		55,144		44,350	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	40,167		41,008		47,377		55,144		44,350	
人件費(千円)	2,877	人工	2,855	人工	2,855	人工	2,876	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3	2,280	0.3		
嘱託	570	0.2	578	0.2	590	0.2	596	0.2		
合計コスト +	43,044		43,863		50,232		58,020		44,350	
前年度比	-		101.9%		114.5%		115.5%		-	

事務事業評価票

事務事業名	緑対策
-------	-----

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	緑対策費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H26 ~

街中の緑を守り、緑化活動を推進するため、様々な事業を実施しながら、市民に緑化活動の意義を啓発し、緑化に対する意識を高めていくもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 地区、町会、育成ボランティア団体への緑化木等の配布
- 2 市指定保存樹維持管理事業補助金制度の活用、周知
保存樹木1本につき補助率50%、補助金額上限25万円(申請件数1件)
- 3 第36回全国都市緑化信州フェア(信州花フェスタ2019)の開催(4月~6月)
- 4 松本市サテライト会場の実施運営(5月25日から6月8日)
- 5 松本市緑化推進委員協議会への支援、協力
(委員数109名、総会1回、幹事会3回、春・秋花苗配布、秋講習会)
- 6 樹勢相談、緑陰講座の開催
(樹勢相談21件、緑陰講座10回・141人参加)

< 現状に対する認識 >

・市指定保存樹維持管理事業補助金(交付要綱:平成28年9月21日告示)は目標値を達成しているため、次年度以降も目標値に近い数字となるよう、所有者に周知が必要である。
 ・交付要綱の改正(令和2年4月1日告示予定)を行うとともに、新規登録も含め広く周知を行う必要がある。
 ・花いっぱい運動と関連づけた緑化活動を実施していくことが必要である。

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	市指定保存樹維持管理事業補助金予算執行率				
指標の設定理由	年間通しての補助金事業の状況から市内の緑化の数値が把握できるため				
目標値(千円)	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
実績値(千円)	548	1,345	263	454	
達成度	43.8%	107.6%	21.0%	36.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	9,817	8,948	7,983	8,800	8,690
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	9,817	8,948	7,983	8,800	8,690
人件費(千円)	4,614	4,554	4,530	4,560	
人工	0.6	0.6	0.6	0.6	
正規	4,614	4,554	4,530	4,560	
嘱託			0	0	
合計コスト +	14,431	13,502	12,513	13,360	8,690
前年度比	-	93.6%	92.7%	106.8%	-

事務事業評価票

事務事業名	負担金
-------	-----

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 事業の狙い >

事業計画年度

H26 ~

公園及び緑化の関係団体に加入することにより、国、県、他市の緑化活動の情報を共有し、業務に活かしていくもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 全国都市公園整備促進協議会
(負担金 42千円 総会、役員会、公園緑地関係資料集の送付)
構成
会長 釧路市長
構成団体 全国439市町村
事業内容
・ 国との意見交換、講演会の開催
・ 公園緑地等の啓発活動
・ 公園緑地関係の問題、課題、対策等の情報提供
・ 加盟団体の相互協力による調査、研究、国への提言等
- 2 灌水施設組合
(負担金 12千円 梓川ふるさと公園の水の使用 総会、役員会)
構成
梓川ふるさと公園内を通る農業用水の施設管理や水利について、水利権を持つ組合員により構成。
事業内容
・ 総会、役員会の開催
・ 施設の有効利用に関する研修
・ 施設の保守、点検、修理等

< 現状に対する認識 >

・全国都市公園整備促進協議会への加盟、活動を通じ、公園緑地に対する様々な課題に対して、取組事例や情報等をいち早く収集でき、事務事業に反映させることができる。
・灌水施設組合は、公園の維持管理に用水を活用するため、水利権を有していることから、加盟が必要。

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	負担金予算執行率				
指標の設定理由	負担金を指標にすることにより、数値が的確に把握できるため				
目標値(千円)	169	54	54	54	54
実績値(千円)	169	54	54	54	
達成度	100.00%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	169		54		54		70		70	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	169		54		54		70		70	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託			0		0		0			
合計コスト +	938		813		809		830		70	
前年度比	-		86.7%		99.5%		102.6%		-	

事務事業評価票

事務事業名	単独アルプス公園整備事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独アルプス公園整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～R5

心と体の健康づくりの推進に寄与する場を提供するため、総合公園であるアルプス公園の施設整備及び松くい虫による被害木の整備を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 施設の改築・更新
 - ・水辺広場循環ポンプ更新 1式
 - ・便器更新 1式
 - ・展望広場下部壁面改修 1式
 - ・園路広場舗装 1式
 - ・マレットゴルフ場改修 1式
- 松くい虫被害木の除去、植栽箇所下刈（森林整備）
（松本市ドリームコースター施設内他伐倒処理 159本）

< 現状に対する認識 >

・子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる公園が求められている。
 ・公園施設及び遊具の老朽化が進んでおり、計画的な更新や補修などの対策が必要となっている。
 ・松くい虫被害が急速に広まり公園内の施設に影響を及ぼす恐れがある。
 ・松くい虫被害木の除去を計画的に実施する予定であるため、今後、除去を実施した箇所の再整備について検討する。

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	アルプス公園の施設整備費率				
指標の設定理由	公園施設の整備状況が直接的に把握できるため				
目標値	3.83%	35.69%	54.46%	69.46%	93.62%
実績値	3.86%	35.60%	44.08%	47.96%	
達成度	100.8%	99.7%	80.9%	69.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	3,459	28,693	16,242	14,555	9,460					
国・県										
利用者負担金										
その他		15,600								
一般財源	3,459	13,093	16,242	14,555	9,460					
人件費(千円)	4,614	人工	4,554	人工	4,530	人工	4,560	人工		人工
正規	4,614	0.6	4,554	0.6	4,530	0.6	4,560	0.6		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	8,073	33,247	20,772	19,115	9,460					
前年度比	-	411.8%	62.5%	92.0%	-					

事務事業評価票

事務事業名	公園施設長寿命化事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	公園施設長寿命化事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H26～R6

既存都市公園施設の老朽化が進んでいる状況で、維持管理におけるライフサイクルコストの軽減が求められているため、老朽化した施設の改築・更新を計画的に行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

改築・更新工事の実施

- 策定した長寿命化計画に基づき、施設改築・更新工事を14公園実施
- ・2ha未満の都市公園で、緊急性の高いベンチの更新
- ・遊戯施設の身体挟み込み解消(部材の追加)、施設の撤去

(令和元年度は、交付金事業の事業採択の調整のため、交付金事業は行わず、新たに創設された起債事業を取り込み、対象施設を実施したもの。)

< 現状に対する認識 >

- ・公園施設及び遊具の老朽化が進んでおり、計画的な更新や補修などの対策が必要となっている。
- ・平成30年度に公園緑地課所管の157公園について、公園施設長寿命化計画を策定し、これにより計画的に施設更新等を進める。

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	公園施設の改築・更新の必要な公園数				
指標の設定理由	公園施設の維持管理の状況が直接的に把握できるため				
目標値	70	55	40	26	3
実績値	70	55	40	26	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	60,009	40,003	50,363	19,995	61,100	
国・県	30,000	20,000	25,170		15,000	
利用者負担金						
その他				17,900	26,100	
一般財源	30,009	20,003	25,193	2,095	20,000	
人件費(千円)	4,614	人工	4,554	人工	4,530	人工
正規	4,614	0.6	4,554	0.6	4,530	0.6
嘱託	0		0		0	
合計コスト +	64,623	44,557	54,893	24,555	61,100	
前年度比	-	68.9%	123.2%	44.7%	-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	単独公園整備事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	松本版総合戦略	5つの重点目標

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独公園整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～R7

心と体の健康づくりの推進に寄与する場を提供するため、都市公園の整備、補植等による緑の再整備及び都市計画法第33条により生み出された未整備緑地の整備を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 都市公園、開発行為緑地の整備、緑の再整備
既存の都市公園の再整備と未整備となっている開発行為緑地の整備(都市公園19件、開発行為緑地10件)
緑の再整備(鳥獣害対策、支障木伐採、法面整備他4件)
- 大規模剪定
あがたの森公園ヒマラヤスギ整備 一式
- 松くい虫被害木処理(市内35公園) 一式

< 現状に対する認識 >

公園施設の老朽化及び樹木の老木化が進んでいるため、計画的な改修や剪定、伐採、植栽などの対策が必要となっている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	総事業費の公園整備率				
指標の設定理由	公園施設の整備状況が直接的に把握できるため				
目標値	8.59%	16.66%	32.54%	51.38%	70.57%
実績値	8.82%	16.85%	29.06%	42.16%	
達成度	102.7%	101.1%	89.3%	82.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	20,314	18,990	34,166	23,551	24,320
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	20,314	18,990	34,166	23,551	24,320
人件費(千円)	9,228	9,108	9,060	9,120	
正規	9,228	9,108	9,060	9,120	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	29,542	28,098	43,226	32,671	24,320
前年度比	-	95.1%	153.8%	75.6%	-

事務事業評価票

事務事業名	美しいまち松本づくり事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	美しいまち松本づくり事業費

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち	主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度	H5 ~
--------	------

花いっぱい運動発祥の地として、第57回全日本花いっぱい松本大会及び第36回全国都市緑化信州フェアの開催を契機に、市民が地域や自宅で花や緑を装飾し、育てる活動を推進するもの
また、花いっぱい運動が継続できる仕組みづくりやPRを行い、緑豊かな美しく住みよいまちづくりにつなげていくもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 第57回全日本花いっぱい松本大会及び第36回全国都市緑化フェアを契機とした
継続的な取組み
- 地区、町会、育成ボランティア団体への花苗の配布(約65,000本)
- 全日本花いっぱい連盟、特定非営利活動法人街を花いっばいにする会への支援
- 生垣設置補助事業の推進
緑豊かな景観形成、防災面からブロック塀撤去を伴う生垣設置の推進、チラシ配布による啓発(令和元年度実績:申請件数56件 うちブロック塀撤去を伴う生垣設置16件)
- 家屋新築・誕生記念樹交付事業の推進
(令和元年度実績:家屋新築記念樹交付480件、誕生記念樹交付579件)
- オープンガーデン事業の推進
オープンガーデンガイドブックの作成、見学会等の実施

< 現状に対する認識 >

・第57回全日本花いっぱい松本大会及び第36回全国都市緑化信州フェアでの取組んだ花いっぱい運動と緑化推進が連動した取組みを継続する施策が必要。
・家屋新築・誕生記念樹交付事業を継続した取り組みとするため、周知が必要。
・生垣設置補助事業による緑化推進のため、ブロック塀のある家庭、新築家屋のある家庭等の周知が必要

< 指標の達成状況 >

	総合評価		B		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	生垣設置補助の延べ延長数				
指標の設定理由	年間通しての補助金事業の状況から市内の緑化の数値が把握できるため				
目標値(m)	920	1,840	2,760	3,680	4,600
実績値(m)	778.8	1,203	1,509	1,995	
達成度	84.7%	65.4%	54.7%	54.2%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	62,680	56,116	95,748	213,296	28,190
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	62,680	56,116	95,748	213,296	28,190
人件費(千円)	21,532	21,252	21,532	21,532	
人工	2.8	2.8	2.8	2.8	
正規	21,532	21,252	21,532	21,532	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	84,212	77,368	117,280	234,828	28,190
前年度比	-	91.9%	151.6%	200.2%	-

上高地対策課

課長 牧羽 文武

事務事業評価票

事務事業名	上高地対策事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	上高地対策事業費

部局名	建設部	課名	上高地対策課	課CD	08120000
-----	-----	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち	主な取組み		北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略		高次広範の観光戦略

< 事業の狙い >

事業計画年度	H27～R9
--------	--------

上高地ビジョン2014に基づき、自然環境や景観の保全を図りつつ事業を推進することにより、将来にわたり全ての利用者が安心・安全に訪れることができる山岳観光地の形成を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本市上高地対策短期・中長期計画に基づき、以下の事業を実施するもの

- 徳沢・横尾地区の管理用道路整備
 - 概要
整備と維持管理に伴う自然環境及び景観への負荷を最小化する。
砂利道L 4,000m 車道橋1基L 90m
 - 実施内容
ア 環境調査及び整備計画案を作成
環境基礎調査及び管理用道路整備計画案作成業務委託 26,114,000円
イ 関係行政機関協議、意見調整
文化庁が整備方針を了承
今後の予定 R2 地質調査、実施設計、許認可申請
R3 工事着工
- 横尾地区への電力供給施設の拡張、光ケーブルの延伸
 - 実施内容
ア 電力供給施設の拡張 現場調査を実施、整備手法を検討
イ 光ケーブルの延伸 (株)NTT東日本等の協力により、架空線での延伸完了
今後の予定 R2 基本設計、実施設計、許認可申請
R3 工事着工
- 梓川河床上昇対策に係る関係機関調整
 - 実施内容
地元や関係機関で構成される対策会議で検討開始
今後の予定
円滑な関係機関調整を図り、河床土砂の経済的・継続的処理を検討

< 現状に対する認識 >

・上高地は、特別名勝、特別天然記念物、及び国立公園特別保護地区に指定されている稀有な場所であるとともに、年間約120万人の来訪があるため、保全と利用の両立が重要課題
 ・事業の必要性及び保全と利用の両立を考慮した整備方針について、関係機関の理解が得られ、長年の懸案である事業実施に向けて見通しが立った状況
 ・今後も綿密な調査を進めながら、関係機関や地元、自然保護関係者等の十分な理解が得られるよう努める。

< 指標の達成状況 >

総合評価	B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	上高地対策事業進捗率(活動指標)				
指標の設定理由	成果は、供用後に発生するため、活動指標を目標値とする。				
目標値	1%	3%	4%	5%	9%
実績値	1%	3%	4%	5%	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	12,182	28,701	14,898	31,752	86,310
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	12,182	28,701	14,898	31,752	86,310
人件費(千円)	6,152	9,108	18,875	30,400	
正規	6,152	0.8	9,108	2.5	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	18,334	37,809	33,773	62,152	86,310
前年度比	-	206.2%	89.3%	184.0%	-

住宅課

課長 田中 久登

事務事業評価票

事務事業名	地域住宅等整備事業(社会資本)
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地域住宅等整備事業(社会資本)

< 事業の狙い > 事業計画年度 H15～R2

老朽化した市営住宅を建替えることにより、密集した住宅街を解消し、防災上安全な住宅街にするとともに、ユニバーサルデザインに配慮した住宅を建設する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

市営住宅団地建替事業
(概要)

1 寿団地建替
密集した住宅街の解消、防災上安全な住宅街の確保、ユニバーサルデザインに配慮した住宅
国土交通大臣の承認を受けた法定建替事業
事業計画
H15～H22年度 A街区整備 4棟125戸建設
H23～R元年度 B街区整備 5棟111戸建設
R2年度 B-3、B-4棟の外構整備
事業費
約25億8百万円
令和元年度までの実績
B街区 5棟 111戸完成(B-1～5棟)
B-3、B-4棟の外構整備に着手(R2年度竣工予定)

2 芳野町団地建替
平成11年度に計画された4棟のうち1棟(40戸)
公営住宅等長寿命化計画では、10年後の市営住宅必要戸数が充足されているため計画を当面凍結

・令和元年度完了に向けて計画的に進捗している。
・国からの安定的な財源確保が課題になっている。

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 > 総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年	令和2年度
成果指標(指標名)	寿団地建替戸数				
指標の設定理由	事業の進捗状況を直接的に把握できるため。				
目標値	146	161	188	236	外構整備
実績値	146	161	188	236	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	391,398	353,348	683,295	784,720	59,840					
国・県	192,986	176,356	304,044	360,745	24,760					
利用者負担金										
その他				360,500	24,700					
一般財源	198,412	176,992	379,251	63,475	10,380					
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工	7,600	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	7,600	1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	399,088	360,938	690,845	792,320	59,840					
前年度比	-	90.4%	191.4%	114.7%	-					

事務事業評価票

事務事業名	地域住宅等整備事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	市営住宅耐震化事業

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >	事業計画年度	H28～R2
松本市耐震改修促進計画及び松本市公営住宅等長寿命化計画に基づき、現在の建築基準法等の耐震関係規定に適合しない耐震不足の市営住宅を順次廃止していくもの。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 耐震不足等の市営住宅を順次用途廃止するため、当該居住者の住替え先住戸を改修し、居住者の移転費用を負担することにより事業を推進するもの。

移転交渉、移転補償及び移転先住戸の改修

ア 移転対象者(対象住宅入居者)
 二子団地86戸、寿団地1丁目53戸、寿団地3丁目15戸 計154戸

イ H28移転戸数
 二子団地35戸4、寿団地1丁目36戸、寿団地3丁目2戸 計 36戸

耐震不足住宅の解体及び用地測量

ア 解体対象戸数 306戸 233戸

イ R1解体戸数 73戸

廃止にあたっては、対象者が移転先として希望する既存市営住宅の改修を行い、順次移転を行っている。
 今後は移転対象者が希望する団地に空きがない等の理由により、移転が進まない場合も考えられるため、よりきめ細やかな対応により移転先を決定し事業を推進する必要がある。また、解体可能となった団地は速やかに解体、測量を行い跡地利用を検討する。

< 指標の達成状況 >

	総合評価		B		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	年度末における移転完了戸数(戸)				
指標の設定理由	公営住宅の災害に対する備えについての指標となるため				
目標値	84	114	140	150	154
実績値	75	116	134	148	
達成度	89.3%	101.8%	95.7%	98.7%	-
成果指標(指標名)	年度末における解体戸数(戸)				
指標の設定理由	公営住宅の災害に対する備えについての指標となるため				
目標値		4	1	100	201
実績値		4	1		
達成度	-	100.0%	100.0%	-	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	68,641	36,028	33,032	156,997	195,790
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	68,641	36,028	33,032	156,997	
人件費(千円)	25,065	人工 24,504	人工 24,420	人工 24,588	人工
正規	23,070	3	22,770	3	22,800
嘱託	1,995	0.7	1,734	0.6	1,788
合計コスト +	93,706	60,532	57,452	181,585	195,790
前年度比	-	64.6%	94.9%	316.1%	-

事務事業評価票

事務事業名	市営住宅管理
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	市営住宅管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度	26～
--------	-----

指定管理者制度を導入し、民間の運営ノウハウ等による市民サービス向上を図り、住宅に困窮している低額所得者に低廉な家賃で住宅を提供するもの
平成31年度から公営住宅について管理代行制度を導入しワン・ストップ・サービスが可能となり入居希望者へのサービス向上を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 指定管理者制度の導入による市営住宅管理運営業務
市営住宅管理戸数 2,898戸
内訳
ア 公営住宅 37団地 274棟 2,715戸
イ 特定公共賃貸住宅 6団地 16棟 104戸
ウ 特定目的住宅 16団地 34棟 61戸
エ 再開発住宅 1団地 1棟 18戸

2 管理代行・指定管理者
長野県住宅供給公社
平成31年4月1日～令和6年3月31日まで

< 現状に対する認識 >

長野県住宅供給公社が指定管理・管理代行を行うことにより、市域で公社が管理している県営住宅等を含めた他の公営住宅と一体的な管理ができ、公営住宅入居希望者へのワンストップ・サービスが可能となり、よりきめ細やかな市民サービスが提供できた。
市営住宅耐震化事業により、用途廃止予定住宅と移転先住宅を募集停止としているため入居率が低くなっている

部局名	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 指標の達成状況 >

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	年度末における入居戸数(戸)				
指標の設定理由	住宅の有効利用について指標となるため				
目標値	2,881	2,892	2,918	2,898	2,898
実績値	2,339	2,280	2,240	2,225	
達成度	81.2%	78.8%	76.8%	76.8%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	152,573	152,572	153,750	159,900	164,210
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	152,573	152,572	153,750	159,900	164,210
人件費(千円)	2,307	人工 2,277	人工 2,307	人工 2,280	人工
正規	2,307	0.3 2,277	0.3 2,307	0.3 2,280	0.3
嘱託	0	0 0	0 0	0 0	
合計コスト +	154,880	154,849	156,057	162,180	164,210
前年度比	-	100.0%	100.8%	103.9%	-

事務事業評価票

事務事業名	用地施設管理事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	用地施設等管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

17~R2

福寿草ヶ丘団地及び神林住宅用地の未分譲地に繁殖する雑草を除去するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 福寿草ヶ丘団地及び神林住宅用地の未分譲地に繁殖する雑草を除去するための草刈り業務委託

- 福寿草ヶ丘団地
- ア 未分譲地 10区画(全50区画) 約 3,250㎡
- イ 緑地帯 約 900㎡
- 神林住宅用地(H29年度追加)
- ア 未分譲地 3区画(全13区画) 約 1,100㎡
- イ 緑地帯 約 150㎡

< 現状に対する認識 >

近隣に迷惑をかけないよう適正に市有地を管理していきたい。

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	福寿草ヶ丘団地販売区画数(区画)				
指標の設定理由	分譲地の良好な住環境を維持し販売促進を図る				
目標値	50	50	50	50	50
実績値	39	39	40	40	
達成度	78.0%	78.0%	80.0%	80.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	108		258		263		272		2,830	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	108		258		263		272		2,830	
人件費(千円)	2,307	人工	3,036	人工	3,076	人工	3,040	人工		人工
正規	2,307	0.3	3,036	0.4	3,076	0.4	3,040	0.4		
嘱託	0	0	0		0		0			
合計コスト +	2,415		3,294		3,339		3,312		2,830	
前年度比	-		136.4%		101.4%		99.2%		-	

事務事業評価票

事務事業名	市営住宅営繕
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	市営住宅営繕費

< 事業の狙い >

事業計画年度	H15～
--------	------

市営住宅の不良個所の修繕及び設備改修等の営繕工事を行うことにより、建物の保全と安全を確保するとともに、住宅の延命化を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 市営住宅の維持管理のため、営繕工事等を行うもの。
市営受託管理戸数 2,898戸
内訳
ア 公営住宅 37団地 274棟 2,715戸
イ 特定公共賃貸住宅 6団地 16棟 104戸
ウ 特定目的団地 16団地 34棟 61戸
エ 再開発住宅 1団地 1棟 18戸

2 営繕対象戸数 2,712戸
耐震不足等による解体予定住宅の空家戸数279戸

3 既存住宅改修事業
風呂釜・量水器・揚水ポンプ等更新、屋根外壁塗装改修等

< 現状に対する認識 >

高度成長期に建設された市営住宅の老朽化が進み、既存住宅のストックマネージメントがますます重要となっており、限られた予算の範囲内で計画的な営繕工事に心掛けている。

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標
			松本版総合戦略

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 指標の達成状況 >

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	年度末における営繕対象住宅への入居戸数				
指標の設定理由	計画的な営繕工事の指標となるため				
目標値	2,701	2,657	2,643	2,592	2,387
実績値	2,339	2,277	2,237	2,222	
達成度	86.6%	85.7%	84.6%	85.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	9,966	40,198	60,042	60,080	60,350					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	9,966	40,198	60,042	60,080	60,350					
人件費(千円)	6,523	人工 29,239	人工 32,890	人工 33,112	人工					
正規	5,383	0.7	28,083	3.7	31,710	4.2	31,920	4.2		
嘱託	1,140	0.4	1,156	0.4	1,180	0.4	1,192	0.4		
合計コスト +	16,489	69,437	92,932	93,192	60,350					
前年度比	-	421.1%	133.8%	100.3%	-					

事務事業評価票

事務事業名	三世代家族支援事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	三世代家族支援事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

29 ~ R2

豊かな持続可能なまちづくりを目指し、定住人口の増加やバランスの取れた人口構成の実現及び地域の活性化として、世代間で支え合う機能を維持するため三世代同居・近居を推進するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

三世代同居・近居のための住居取得費用の一部補助、住宅取得費用の一部補助、住宅リフォーム費用及び引越し等の費用支援を行い、本市への転入による定住人口の増加や多世代同居のきっかけづくりを推進する。

1 補助金別申請件数

住宅取得補助金 (同居・近居のための住宅取得)
 同居(補助率1/10 補助限度額50万円) 19件
 近居(補助率1/10 補助限度額25万円) 34件

リフォーム補助金 (同居のための住宅リフォーム)
 同居(補助率1/10 補助限度額20万円) 5件

家族奨励補助金 (同居・近居のための引越し費用等)
 同居(補助率10/10 補助限度額20万円) 6件
 近居(補助率10/10 補助限度額10万円) 8件

市外からの転入及び市分譲(JKタウン、福寿草)を取得した場合には補助限度額にそれぞれ20万円を加算(最大90万円、を除く)

アンケート結果

・補助金が同居等のきっかけになった 36.8%
 ・生きがいづくりに繋がると思う 92.8%

< 現状に対する認識 >

平成29年6月から開始した制度であり申込件数等についての予測が困難であったが、結果としては想定以上の申請があった。

申請結果からも、同居・近居を希望する世帯が少なからずあることから、今後も事業のPRIに努め、引き続き三世代同居・近居のきっかけづくりを推進する。

部局名	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	補助金申請件数				
指標の設定理由	三世代同居・近居のきっかけづくりを推進する				
目標値		30	120	125	100
実績値		60	92	72	-
達成度	-	200.0%	76.7%	57.6%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	0	19,947	35,440	24,790	13,000
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源		19,947	35,440	24,790	13,000
人件費(千円)	0	人工 3,795	人工 3,845	人工 3,800	人工
正規	0	0 3,795	0.5 3,845	0.5 3,800	0.5
嘱託	0	0 0	0 0	0 0	
合計コスト +	0	23,742	39,285	28,590	13,000
前年度比	-	-	165.5%	72.8%	-

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名 市営住宅ストック総合改善事業

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地域住宅等整備事業(社会資本)

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標
			松本版総合戦略

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >

事業計画年度

H15~

市営住宅の建物・設備の延命及び良質なストック改善を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

市営住宅ストック改善事業
(概要)

受水槽改修
老朽化した受水槽を計画的に改修するもの。
結露対策工事
市営住宅の結露として外壁の外断熱工事を行うもの。
防水保護層改修
市営住宅の雨漏りを防ぐため屋根、ベランダの防止工事を行うもの。
年間事業費
5千9百万円

国庫交付金の状況により計画が変動している。
国からの安定的な財源確保が課題となっている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	交付金対象事業延べ工事棟数				
指標の設定理由	事業の成果を直接に把握できるため。				
目標値	46	55	61	69	77
実績値	46	62	68	77	
達成度	100.0%	112.7%	111.5%	111.6%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	93,132		160,935		57,888		59,510		17,160	
国・県	24,187		64,181		23,677		24,020		7,290	
利用者負担金										
その他										
一般財源	68,945		96,754		34,211		35,490		9,870	
人件費(千円)	4,614	人工	7,590	人工	2642.5	人工	2,888	人工		人工
正規	4,614	0.6	7,590	1	2642.5	0.35	2,888	0.38		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	97,746		168,525		60,531		62,398		17,160	
前年度比	-		172.4%		35.9%		103.1%		-	

建築指導課

課長 齊木 康利

事務事業評価票

事務事業名	開発許可事務
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	開発行為許可事務費

< 事業の狙い >

事業計画年度	～
--------	---

1 都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、都市計画マスタープランや立地適正化計画等のまちづくりの将来像を示す内容を実現する手段の一つとして、適正な都市的土地利用の実現を行うもの
 2 今後発生が予想される大地震時の地盤変動が要因となって、宅地の地すべり被害が生ずるおそれのある大規模盛土造成地の掌握と安全性の確認

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

[事業実施内容]
 都市計画法(昭和43年法律第100号)の規定による開発行為等の許可

[活動指標(実績値)]
 開発行為等許可等の件数 380件

< 現状に対する認識 >

人口減少高齢化の進展により、空き家等の発生、将来的なインフラの維持・修繕・更新に係るコストの増大等の懸念が生じている。そのため、コンパクトシティを形成していく必要性が高まっていることから、開発許可制度はまちづくりの将来像を実現する手段として重要となってきている。
 大規模盛土造成地の安定性の評価が必要

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 指標の達成状況 >

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	開発行為等許可等の件数	申請行為のため、目標値の設定は出来ない。				
指標の設定理由		-				
目標値						
実績値	387	434	421	399		
達成度	-	-	-	-	-	
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	4,013	2,696	230	3,310	7,600
国・県		853			3,800
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,013	1,843	230	3,310	4,000
人件費(千円)	33,610	人工 33,256	人工 33,610	人工 33,380	人工
正規	30,760	4	30,360	4	30,400
嘱託	2,850	1	2,896	1	2,980
合計コスト +	37,623	35,952	33,840	36,690	7,605
前年度比	-	95.6%	94.1%	108.4%	-

事務事業評価票

事務事業名	狭あい道路対策事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	狭あい道路対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H24～R6

安全で良好な生活環境の向上を図るため、松本市狭あい道路の拡幅整備に関する条例(平成24年条例第29号)に基づき、市街化区域内にある市道の狭あい道路(幅員1.8m以上4m未満)を対象に、建築行為などの際に、後退用地についての協議を義務付け、拡幅整備に必要な経費の一部を市が負担し、狭あい道路の拡幅整備の促進を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

[事業実施内容]

- 1 拡幅整備に必要な経費の一部を市が負担し、狭あい道路整備の促進を図るもの
- 2 建築確認申請時等に協議を行い、道路後退用地の測量登記と物件補償(補助金)後に道路整備を行い、道路環境を改善

[活動指標(実績値)]

- 1 寄附率 2.2%

< 現状に対する認識 >

住宅等建築の際に協議を行い、後退用地の寄附をお願いしているが寄附率が伸び悩んでいる状態である。

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

総合評価

C

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	寄附率				
指標の設定理由	狭あい道路の拡幅状況を直接測定できるため				
目標値	45.0	46.0	47.0	49.0	50.0
実績値	30	15	29	22	
達成度	66.7%	32.6%	61.7%	44.9%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	19,930		13,821		19,495		25,026		25,030	
国・県	3,800		1,707		1,000		996		8,400	
利用者負担金										
その他										
一般財源	16,130		12,114		18,495		24,030		16,630	
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,538	人工	1,520	人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,538	0.2	1,520	0.2		
合計コスト +	21,468		15,339		21,033		26,546		25,030	
前年度比	-		71.5%		137.1%		126.2%		-	

事務事業評価票

事務事業名	建築物耐震補強促進事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	建築物耐震補強促進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～R3

建築物の地震に対する安全性の向上を図り、地震に強いまちづくりを推進するため、旧耐震基準の木造住宅等の耐震診断実施や耐震改修の補助を行います。
また、松本市耐震改修促進計画を踏まえ、要緊急安全確認大規模建築物や避難路沿道建築物の耐震化を促進するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

[事業実施内容]

- 木造住宅耐震診断、木造住宅耐震改修、避難施設耐震診断等補助
R元年度実績
・木造住宅耐震診断 48件
・木造住宅耐震改修 11件
・避難施設耐震診断 1件
- 要緊急安全確認大規模建築物の公表
- 避難路沿道建築物調査に基づく義務化路線の検討

[活動指標(実績値)]

- 住宅の耐震化率 83.8%

< 現状に対する認識 >

耐震診断、補強工事のニーズが高まってきているので、一層の周知と予算の確保が必要である。
広報、回覧や戸別訪問の実施により制度周知を図っていきたい。

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなくまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち	主な取組み	震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	住宅の耐震化率				
指標の設定理由	耐震化の状況を直接的に測定できるため				
目標値	83.0	85.0	87.0	89.0	90.0
実績値	82.2	82.7	83.3	83.8	
達成度	99.0%	97.3%	95.7%	94.2%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	18,870		18,085		20,825		19,185		54,440	
国・県	11,132		11,693		12,570		10,495		28,980	
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,738		6,392		8,255		8,690		25,460	
人件費(千円)	7,536	人工	7,438	人工	7,536	人工	7,448	人工		人工
正規	7,536	0.98	7,438	0.98	7,536	0.98	7,448	0.98		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	26,406		25,523		28,361		26,633		54,440	
前年度比	-		96.7%		111.1%		93.9%		-	

事務事業評価票

事務事業名	建築確認事務
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	建築確認事務費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

国民の生命、健康及び財産の保護を図るため、建築基準法第6条に定めた敷地、構造、設備等に適合する建築物であることを、建築主からの申請又は通知により建築主事が確認し、確認済証を交付する他、建築許可証の交付等を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

[事業実施内容]

指導審査担当の業務を行うための事務費等

- 費用弁償(建築審査会その他開催に伴う委員等の車賃)
- 普通旅費(職員出張に伴う鉄道賃、宿泊料及び日当)
- 消耗品費(図書追録、各種法令集、各種事務用品、法改正等により業務上必要な参考図書)
- 手数料(税金等窓口収納手数料)
- 借上料(建築情報管理システム用サーバー機器一式)
- 委託料(建築情報管理システム再構築、建築情報管理システム保守、指定道路図管理システム保守、指定道路図作成)

[活動指標(実績値)]

- 確認済証交付件数 69件
- 許可証交付件数 66件

< 現状に対する認識 >

確認申請の9割を民間建築確認機関が行う現状の中で、数少ない市の建築確認業務を適切に行い、違反是正、定期報告、民間建築確認機関の監視等の行政庁でなければ出来ない業務に生かして行く事が大切である。

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	確認済証交付件数 申請行為のため、目標値の設定は出来ない。				
指標の設定理由					
目標値	-	-	-	-	-
実績値	135	108	80	69	
達成度	-	-	-	-	-
成果指標(指標名)	許可証交付件数 申請行為のため、目標値の設定は出来ない。				
指標の設定理由					
目標値	-	-	-	-	-
実績値	84	64	92	66	
達成度	-	-	-	-	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	5,007		1,599		1,850		14,220		8,930	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,007		1,599		1,850		14,220		8,930	
人件費(千円)	42,987	人工	42,428	人工	42,205	人工	42,484	人工		人工
正規	42,987	5.59	42,428	5.59	42,205	5.59	42,484	5.59		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	47,994		44,027		44,055		56,704		8,930	
前年度比	-		91.7%		100.1%		128.7%		-	

事務事業評価票

事務事業名	アスベスト飛散防止対策事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	アスベスト飛散防止対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

R1 ~ R2

飛散性の高い吹付アスベストの大気中への粉塵の排出及び飛散を防止するため、建築物所有者等が行うアスベストの含有調査・除去費用に対して補助金を交付するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

[対象要件等] 令和2年度までの時限事業

- 対象
 - アスベスト含有量調査費
 - 吹付け建材が使用されている建築物
 - アスベスト除去工事費

多数の者が利用する建築物で、多数の者が共同で利用する部分において露出して吹付けアスベストが使用されている建築物
- 補助率
 - アスベスト含有量調査費
 - 補助率10/10(国費10/10)
 - (限度額25万円)
 - アスベスト除去工事費
 - 補助率2/3(国費1/3、県費1/6、市費1/6)
 - (限度額800万円かつ22千円/m²以内)

[活動指標(実績値)]

アスベスト飛散防止対策件数 1件

< 現状に対する認識 >

建築物使用者の健康被害を防止するため、一層の周知と予算の確保が必要である。

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち	
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標
			松本版総合戦略

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	アスベスト飛散防止対策件数				
指標の設定理由	進捗状況が直接的に測れるため				
目標値	-	-	-	1	1
実績値	-	-	-	1	-
達成度	-	-	-	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	0	0	0	8,200	8,750	
国・県				6,200	6,750	
利用者負担金						
その他						
一般財源				2,000	2,000	
人件費(千円)	0	人工	0	人工	304	人工
正規	0	0	0	0	304	0.04
嘱託	0	0	0	0	0	
合計コスト +	0	0	0	8,504	8,750	
前年度比	-	-	-	-	-	

事務事業評価票

事務事業名	ブロック塀対策事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	建築物耐震補強促進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

R1 ~ R2

危険なブロック塀等の倒壊による通行人の被害を未然に防止し、その安全を確保するため、所有者が行うブロック塀等を撤去する事業に対し、補助金を交付するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

[対象要件等] 令和2年度までの時限事業

1 対象
 避難路の沿道等又は避難地と避難地に隣接する敷地との境界に面する高さ80cm以上のブロック塀等の内、耐震診断により危険と判定されたもの

2 補助率
 塀の長さ×14,000円/m(基礎無5,000円/m)と業者見積のいずれか低い方の額の2/3(国費1/3、市費1/3)
 (限度額10万円)

[活動指標(実績値)]
 ブロック塀対策力所数 22カ所

< 現状に対する認識 >

申請者も費用負担が必要であるため、申請件数が伸びていない。
 危険なブロック塀等の倒壊による被害を防止するため、一層の周知と予算の確保が必要である。

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み		震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	ブロック塀対策力所数				
指標の設定理由	進捗状況が直接的に測れるため				
目標値	-	-	-	100	100
実績値	-	-	-	22	-
達成度	-	-	-	22.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	0	0	0	1,458	10,000	
国・県				729	5,000	
利用者負担金						
その他						
一般財源				729	5,000	
人件費(千円)	0	人工	0	人工	912	人工
正規	0	0	0	912	0.12	
嘱託	0	0	0	0		
合計コスト +	0	0	0	2,370	10,000	
前年度比	-	-	-	-	-	

城下町整備本部

次長 神戸 順

事務事業評価票

事務事業名	松本城周辺整備事業(都市再生)
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	松本城周辺整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H23～R7

観光客や市民が安心して歩ける道路空間づくりを推進し、防災拠点となる松本城公園や市役所へのアクセシビリティ向上を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 内環状北線整備事業
(1) 用地取得及び条件整備 事業用地の取得(令和元年度までの事業用地取得率 71%)
(2) 用地権利者調査業務
(3) 補償再算定業務
2 市道1056号線整備事業
(1) 地元との合意形成
(2) 補償算定業務

< 現状に対する認識 >

防災拠点となる市役所、広域避難地である松本城公園への重要なアクセス道路となっていることから、歩行避難空間の確保、災害車両通行空間の確保が求められている。
松本城周辺の環境整備として交通の分散化、子供からお年寄りまでが安全で安心して通行できる歩車道分離による道路整備が求められている。

部局名	建設部	課名	城下町整備本部	課CD	0860000
-----	-----	----	---------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事業の進捗率				
指標の設定理由	事業費で進捗を管理するため				
目標値	35%	38%	41%	55%	71%
実績値	36%	43%	46%	57%	
達成度	102.9%	113.2%	112.2%	103.6%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	299,132	108,831	95,758	187,980	372,060
国・県	164,520	59,857	92,000	92,720	185,980
利用者負担金					
その他	127,800	46,400	3,500	8,300	161,600
一般財源	6,812	2,574	258	86,960	24,480
人件費(千円)	16,235	16,047	15,985	16,094	
正規	15,380	15,180	15,100	15,200	
嘱託	855	867	885	894	
合計コスト +	315,367	124,878	111,743	204,074	372,060
前年度比	-	39.6%	89.5%	182.6%	-

事務事業評価票

事務事業名	単独松本城周辺整備事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	松本城周辺整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H23～R7

観光客や市民が安心して歩ける道路空間づくりを推進し、防災拠点となる松本城公園や市役所へのアクセシビリティ向上を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 内環状北線整備事業

用地取得及び条件整備
 事業用地の取得(令和元年度までの事業用地取得率 71%)
 不動産鑑定業務
 付帯工事
 景観設計業務
 内環状北線管理工事業務

2 市道1057号線整備事業

用地交渉
 用地測量
 補償算定
 (4) 移転補償業務

3 市道1056号線整備事業

(1) 地元との合意形成

< 現状に対する認識 >

防災拠点となる市役所、広域避難地である松本城公園への重要なアクセス道路となっていることから、歩行避難空間の確保、災害車両通行空間の確保が求められている。
 松本城周辺の環境整備として交通の分散化、子供からお年寄りまでが安全で安心して通行できる歩車道分離による道路整備が求められている。

部局名	建設部	課名	城下町整備本部	課CD	0860000
-----	-----	----	---------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事業の進捗率				
指標の設定理由	事業費で進捗を管理するため				
目標値	35%	38%	41%	55%	71%
実績値	36%	43%	46%	57%	
達成度	102.9%	113.2%	112.2%	103.6%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	9,290		194,348		17,224		355,090		98,730	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	9,290		194,348		17,224		355,090		98,730	
人件費(千円)	15,950	人工	15,758	人工	15,690	人工	15,796	人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2	15,200	2		
嘱託	570	0.2	578	0.2	590	0.2	596	0.2		
合計コスト +	25,240		210,106		32,914		370,886		98,730	
前年度比	-		832.4%		15.7%		1126.8%		-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	城下町整備本部	課CD	08600000
-----	-----	----	---------	-----	----------

事務事業名	国庫補助南・西外堀復元事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	国庫補助南・西外堀復元事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9	「三カク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承		
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
松本版総合戦略			

< 事業の狙い >

事業計画年度 H23 ~ R6

「松本城およびその周辺整備計画」及び、「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財保護と歴史的景観の維持向上を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 松本城南・西外堀復元事業
 用地取得及び条件整備
 事業用地の取得(令和元年度までの事業用地取得率 63%)
 復元に向けた試掘調査
 試掘箇所:南・西外堀二の丸側

< 現状に対する認識 >

南・西外堀は、昭和初期までに埋め立てられて現在に至っており、遺構の保護が図られていない。松本城天守を南側及び西側から望むことができず、歴史的景観の向上を図る必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事業の進捗率				
指標の設定理由	事業費で進捗を管理するため				
目標値	27%	32%	39%	54%	65%
実績値	32%	36%	42%	45%	
達成度	118.5%	112.5%	107.7%	83.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	141,787		126,843		209,600		113,600		113,980	
国・県	113,429		101,474		167,670		90,870		91,180	
利用者負担金										
その他	28,358		25,369		41,930		22,730		22,800	
一般財源										
人件費(千円)	15,950	人工	15,758	人工	15,690	人工	11,996	人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2	11,400	1.5		
嘱託	570	0.2	578	0.2	590	0.2	596	0.2		
合計コスト +	157,737		142,601		225,290		125,596		113,980	
前年度比	-		90.4%		158.0%		55.7%		-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	城下町整備本部	課CD	0860000
-----	-----	----	---------	-----	---------

事務事業名	単独南・西外堀復元事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独南・西外堀復元事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9	「三カク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承		
5つの重点目標	松本城南・西外堀復元・内環状北線整備など、松本城を中心としたまちづくり		
松本版総合戦略			

< 事業の狙い >

事業計画年度 H23 ~ R6

「松本城およびその周辺整備計画」及び、「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財保護と歴史的景観の維持向上を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 松本城南・西外堀復元事業
用地取得及び条件整備 事業用地の取得(令和元年度までの事業用地取得率 63%) 補償算定等業務 買収後事業用地管理業務 代替地購入及び整備業務

< 現状に対する認識 >

南・西外堀は、昭和初期までに埋め立てられて現在に至っており、遺構の保護が図られていない。松本城天守を南側及び西側から望むことができず、歴史的景観の向上を図る必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事業の進捗率				
指標の設定理由	事業費で進捗を管理するため				
目標値	27%	32%	39%	54%	65%
実績値	32%	36%	42%	45%	
達成度	118.5%	112.5%	107.7%	83.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	53,962		29,415		15,626		8,774		15,150	
国・県										
利用者負担金										
その他	53,962		29,415		15,626		8,774		15,150	
一般財源										
人件費(千円)	16,235	人工	16,047	人工	15,985	人工	12,294	人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2	11,400	1.5		
嘱託	855	0.3	867	0.3	885	0.3	894	0.3		
合計コスト +	70,197		45,462		31,611		21,068		15,150	
前年度比	-		64.8%		69.5%		66.6%		-	